

令和7年度	設計 の 理由	水道施設整備事業に伴い、本工事を要す。	工期	R8.1.9 限り	施工 方法	条件付 一般競争 入札
市単・ 負担金						

実施設計書

配水管布設工事 第3号

矢板市 安沢 地内

設計概要

施工延長	L=59.9m	
・配水管布設工 DIP(GX) φ150	L=52.0m	工務GL
・配水管布設工 DIP(GX) φ100	L=7.9m	
・仕切弁設置工 φ150	3か所	
・仕切弁設置工 φ100	1か所	
・土工、路面復旧工	1式	設計者

設計書用紙 (甲)

栃木県矢板市

請負工事価格 金

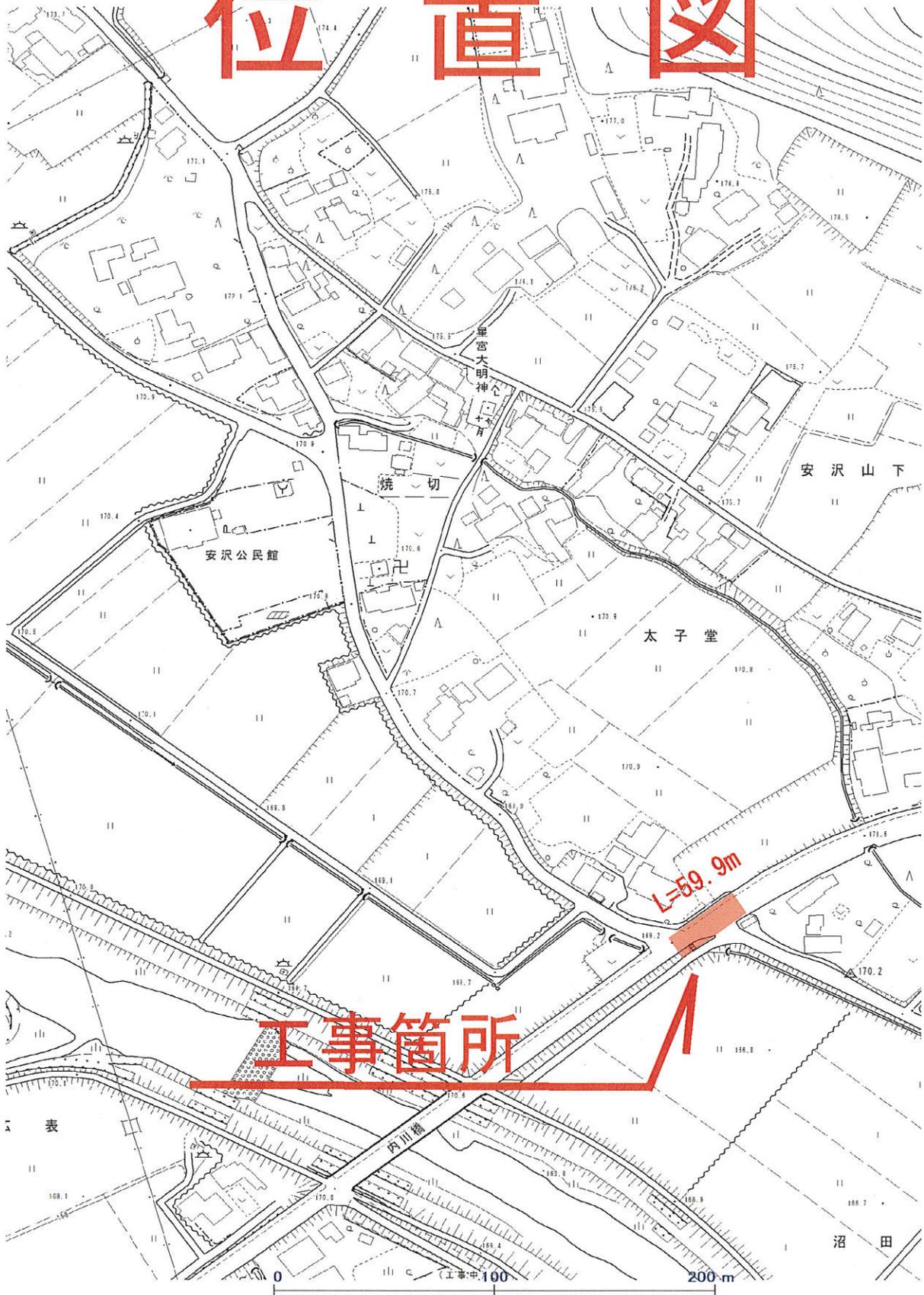
内 訳

工事価格 金

消費税相当額 金

予定額		増減額	予算額	理由
査定額			に対する	
実施 前回	設計額	増減額	増減額	
	請負額		前設計額	
	請負率		請負額	
今回 変更	設計額	増減額	に対する	
	請負額		増減額	

位置図



SCALE: 1/2,500 矢板市役所建設課

施 工 条 件 書

工事名：配水管布設工事第3号（安沢地内）

●工程関係

- ・工事着手前に施工計画書を提出し、監督員と協議すること。
- ・工事に何らかの支障があり工程が遅れる場合は、監督員と協議すること。
- ・近接工事として、道路改良舗装工事（県道下河戸・片岡線）、道路改良工事（市道安沢12号線）分割1号、同分割2号、下水道MH蓋調整工事、東電・NTT等の電柱移設工事が予定されている為、請負業者等間で工程調整を行い、監督員に報告すること。

●用地関係

- ・施工上、個人の土地に入らなければならない場合、土地所有者の許可を得ること。残材や砂利等はトラブルの原因になるため、取扱いに対しては特に注意すること。
- ・境界杭・測量杭等は工事車両等で動かさぬよう確実に養生すること。また施工上支障となる場合は控えをとり、確実に復旧すること。

●公害対策

- ・作業中の騒音、振動については、極力配慮すること。
- ・原則として、日曜、祭日の作業は避けること。ただし、工期厳守を優先するため、必要に応じて工事の推進を図ること。
- ・土砂の運搬時、路上に落ちた土砂等は必ず清掃を行うこと。（特に搬入、搬出先の路上）
- ・施工方法により、付近の家屋・工作物等に被害を及ぼす恐れがある箇所は、着工前に工損調査等を行うこと。

●安全対策関係

- ・歩行者、自転車、農耕機が工事区域内に侵入し、事故が発生しないよう十分注意すること。
- ・工事車両の出入口及び建設機械の旋回には、必ず誘導員を配置すること。
- ・交通整理員は、当初設計時では延べ20人（5日×4人）を見込んでいるが、警察協議等により施工条件の変更が生じた場合には、監督員と事前に協議の上、配置人員等は変更できるものとする。
- ・施工の安全確保の徹底を図るため、現場において作業員全員による定期的な教育、訓練等を実施すること。（労働災害防止）

また、月当たり半日以上の時間を割当てて、状況写真を提出すること。

●工所用道路関係

- ・片側通行、全面通行止め等を行い施工する場合、所轄の警察署及び矢板消防署、郵便局等と協議の上、必要に応じて書類を提出すること。
- ・迂回路実施の場合、案内看板等を設置し、安全確保のために常に巡回すること。

●仮設備関係

- ・工事表示板等保安施設については所定の位置に設置し、夜間においても遠方から確認できるようにすること。また、常に巡回を行い、安全確認を行うこと。

●残土・産業廃棄物関係

- ・残土(土砂)がある場合、捨土処理報告書(写真添付)を提出すること。
- ・産業廃棄物(アスファルト塊、コンクリート塊)がある場合、径30cm未満に小割して、中間処理施設に持ち込み、受入書類等を添付して報告(写真添付)すること。
- ・ダンプトラック過積載による違法運行の防止対策実施要領を厳守すること。
- ・再生資源利用(促進)計画書及び同実施書の提出
工事を実施するにあたり、再生資源利用(促進)計画書を施工計画書に添付すること。
計画書の実施状況については、再生資源利用(促進)実施書を作成して、工事完了後速やかに実施書を発注者に提出すること。
- ・上記近接工事等で本施工発生土を流用する旨の協議が整った際は、請負者間において日程調整の上、発生土を引渡し、変更設計時の対象とする。
- ・既設撤去鑄鉄管は、当初設計時では推定0.3tを最寄りの買取事業所へ搬入し、「故鉄」売却処分と見込んでいたが、これにより難しい場合には、監督員と事前に協議の上、変更できるものとする。

●準備工

- ・監督員と協議し、必要に応じ既設配水管等埋設物の位置・土被りの確認を実施すること。
なお当初設計時において、2箇所程度の試掘を必須とする。

●工事支障物関係

- ・埋設物等の支障物件を確認した場合、監督員に連絡を取り指示を受けること。
また埋設物等については、工事着手前に図面等により確認し、施工時には管理者の立会いを依頼すること。また、監督員と協議の上、必要に応じ試掘を行うこと。
- ・上下水道事務所 水道課 0287-44-1511
- ・ " 下水道課 0287-43-6214
- ・NTT東日本 0120-116-000
- ・東京電力カスタマーセンター 0120-995-112
- ・矢板警察署 0287-43-0110

・ 矢板消防署

0287-44-2511

● その他

- ・ 栃木県土木工事共通仕様書及び土木工事必携を準用する。
- ・ 特記仕様書を遵守すること。
- ・ 任意の基準点等を設置した場合は、監督員の確認を得て、起工測量時の報告にも明記すること。
- ・ 建設業退職金共済証紙購入報告書を提出すること。
- ・ 着手前に設計図書と現場との照査を行い、監督員に報告すること。
- ・ 施工時に住民等の交通に支障を極力減らすよう、看板や回覧等で周知し、苦情の回避に努めること。

(別紙 5)

捨土処理報告書

令和 年 月 日

水道事業管理者
矢板市長 様

住 所
商号又は名称
代表者氏名

捨土処理について、次のように処理を行いましたので、関係書類を添えて報告いたします。

記

1. 工 事 名

2. 工 事 場 所

3. 処 分 場 所

4. 処分地所有者名
又は処理施設社名

5. 処 理 量

6. 付 属 書 類 写真（処理前・処理後）、位置図

(別紙 6)

廃材処理報告書

令和 年 月 日

水道事業管理者
矢板市長 様

住 所
商号又は名称
代表者氏名

廃材処理について、次のように処理を行いましたので、関係書類を添えて報告いたします。

記

1. 工 事 名
2. 工 事 場 所
3. 処 分 場 所
4. 処分地所有者名
又は処理施設社名
5. 処 理 量
6. 付 属 書 類

写真（中間処理施設看板、廃材幅管理）、位置図
中間処理施設入荷証明

特記仕様書（建設副産物）

1 共通事項

- (1) 建設副産物実態調査要領に基づき、本工事に係る再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて各1部提出すること。また、工事完成後速やかに上記計画書の実施状況について、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を作成し、各2部提出するとともに、これらの記録を工事完成後1年間保存しておくこと。
- (2) 建設副産物の処分に先立ち、別紙「建設副産物処理承認申請書」により監督職員の確認を受け、同申請書を2部提出すること。
- (3) 建設廃棄物の処分にあって、排出事業者（元請業者）は処理業者と建設廃棄物処理委託契約書を締結し、建設副産物処理委託契約書（厚生省作成または建設八団体廃棄物対策連絡会作成様式）を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。なお、收拾運搬業務を收拾運搬業者に委託する場合は、別に、收拾運搬業者と建設廃棄物処理委託契約を締結すること。
- (4) 建設副産物処理完了後速やかに別紙「建設副産物処理調書」を作成し、監督職員に2部提出するとともに、実際に要した処理等を証明する資料（受入れ伝票、写真、位置図、経路等）を提示し確認を受けること。また、竣工図書に添付すること。
- (5) 建設廃棄物については、産業廃棄物処理における「産業廃棄物管理票（マニフェスト）」のA票、B票、D票を監督職員に提示し、確認を受けるとともにE票の写しを竣工図書に添付すること。

2 建設発生土

(1) 指定（A）の場合

本工事により発生する建設発生土のうち、下記に示す建設発生土については、下記指定地に搬出すること。

ア 搬出先（相手先工事名、場所等）：

イ 土質及び処分量 m³

ウ 搬出時期 適宜

(2) 指定（B）の場合

建設発生土（48 m³）は準指定処理とし、請負者裁量で処理地を確保するものとし、実情に応じて運搬距離を変更するものとする。

※ただし、掘削土を土質・近接現場状況により流用する可能性があるため、監督員と協議し建設発生土量・運搬距離を変更するものとする。

- (3) 自由処理の場合
建設発生土 (m3) は自由処分とし、請負者裁量で処理地を確保するものとするが運搬距離の変更はしない。
- (4) 建設発生土を処理する場合には、処理先の見やすい場所に必ず標識を掲げること。

3 建設廃棄物

本工事により発生する

- ア、 アスコン塊 (3 m3) は、 矢板市 針生 地内、
運搬距離 5.7km の施設に運搬し、処理するものとする。
- イ、 コンクリート塊 (m3) は、 矢板市 針生 地内、
運搬距離 5.7km の施設に運搬し、処理するものとする。
- ウ、 建設発生木材 (m3) は、 地内、
運搬距離 km の施設に運搬し、処理するものとする。
- エ、 建設汚泥 (0.2 m3) は、 大田原市 蛭田 地内、
運搬距離 15.8km の施設に運搬し、処理するものとする。
- オ、 建設発生廃プラ (m3) は、 地内、
運搬距離 km の施設に運搬し、処理するものとする。
- カ、 石塊 (m3) は、 地内、
運搬距離 km の施設に運搬するものとする。

電子納品に関する特記仕様書

(建設工事)

(適用範囲)

第1条 本特記仕様書は、当該工事（以下「本工事」という。）の最終成果品を電子納品の対象とし、そのために必要な事項について定めるものである。

(電子納品)

第2条 電子納品とは、本工事の最終成果を電子データで納品することをいう。

ここでいう電子データとは、「電子納品運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。

なお、書面における署名又は押印の取扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。

(成果品の提出)

第3条 成果品の提出の際には、国土交通省チェックシステム及びウィルス対策ソフトを利用してチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、電子媒体に格納することとする。提出物は、電子媒体（CD-R又はDVD-R）正副各1部、計2部とする。

なお、電子納品の対象外とした書類は、従来通り紙で納品する。

「ガイドライン」で特に記載のない項目については、原則として成果を電子化して提出する義務はないが、監督職員と協議の上、電子化を決定する。

また、紙による書類の提出は必要最小限とする。

(成果品の保管)

第4条 請負者は、発注者に提出する電子媒体に格納したデータを、バックアップとして請負者のハードディスク等に保管し、その保管年数は10年間を原則とする。

(成果品の確認)

第5条 請負者は、電子媒体（CD-R又はDVD-R）提出時において、電子データが「ガイドライン」に基づき作成されていることを、監督職員の立会いのもと確認する。

なお、電子データの検査方法については、別途協議のうえ決定する。

(その他)

第6条 請負者は、本工事の実施にあたり内容に疑義が生じた場合には、速やかに監督職員と協議し、その指示を受けなければならない。

特記仕様書

1. 本工事の主任技術者は、次に掲げる資格を有する者を当てなければならない。

- (1) 建設業法（昭和24年法律第100号）による技術検定（以下「技術検定」という。）のうち検定種目を二級の建設機械施工管理又は、二級の土木施工管理とするものに合格した者、並びに建設大臣が前述の者と同等以上の能力を有するものと認定した者。
- (2) 技術士法（昭和32年法律第124号）による本試験のうち技術部門を建設部門、農業部門（選択科目「農業土木」とするものに限る。）とするものに合格した者。

なお、主任技術者等の通知書に合格証明書等有資格技術者であることを証するもの（写しでもよい）を添付すること。

特記仕様書

請負者は、工事の施工にあたっては次の事項を厳守するものとする。

1. 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
2. さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
3. 過積載車両、さし枠車両、不表示車等から土砂等の引渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。
4. 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行う場合、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
5. 建設発生土の処理及び骨材の購入等に当たって、下請け事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
6. 不法パーソナル無線・不法アマチュア無線等の不法・違法無線局を搭載しているトラック、ダンプカー等の工事関係車両を使用しないこと。また、下請け業者にも十分指導するものとする。
7. 以上のことにつき、下請け業者にも十分指導すること。

特記仕様書 配水管布設等施工管理

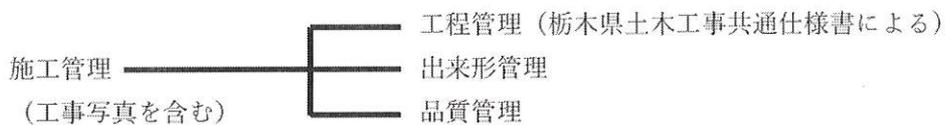
1 目的

この管理基準は、矢板市水道事業が発注する水道工事（配水管布設工事）の施工について、契約図書に定められた工期、工事目的物の出来形及び品質規格の確保を図ることを目的とする。

ただし、この基準に定めのない舗装工事、土木工事等における施工管理は「栃木県土木工事共通仕様書」により、またこの基準に定めのない配水管布設工事における施工管理は「水道工事標準仕様書（(公社)日本水道協会）」により、給水管布設工事における施工管理は「矢板市給水装置設計施工指針」によるものとする。

2 構成

施工管理の構成は、下記のとおりである。



3 管理の実施

- (1) 請負者は、工事施工前に、施工管理計画及び施工管理担当者を定め、当該計画書を提出する。
- (2) 施工管理担当者は、当該工事の施工内容を把握し、適切な施工管理を行う。
- (3) 請負者は、測定（試験）等を工事の施工と並行して、管理の目的が達せられるよう速やかに実施する。
- (4) 請負者は、測定（試験）等の結果をその都度逐次管理図表等に記録し、適切な管理のもとに保管し、監督員の請求に対し速やかに提示するとともに、工事完成時に提出する。
- (5) 請負者は、工事写真を施工管理の手段として、各工事の施工段階及び工事完成後明視できない箇所の施工状況、出来形寸法、品質管理状況等を写真管理基準により撮影し、適切な管理のもとに保管し、監督員の請求に対し速やかに提示するとともに、工事完成時に提出しなければならない。

4 規格値

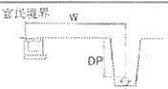
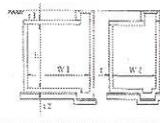
請負者は、出来形管理基準及び品質管理基準により測定した各実測（試験・検査・計測）値は、規格値を満足しなければならない。

以下に「水道工事標準仕様書（日本水道協会）」及び「栃木県土木工事共通仕様書」の一部を抜粋する。設計図書に謳われた管種・工法等必要に応じ、管理項目を追加し施工計画書に記載すること。

●水道工事標準仕様書（日本水道協会）2010年版

出来形管理基準例

単位：mm

工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
管の掘付	占用位置 W	±30	・路肩、口徑、管種ごとに、施工延長40mにつき1箇所		
	土被り DP	±30			
管の接合	鑄鉄管継手	接合要領書による	・口徑、管種毎に全接合箇所測定 ・各種継手点検表に記入		
	ビニル管継手				
	ポリ管継手				
弁栓類・鉄蓋の掘付	路面との段差	段差が無いこと	・全箇所測定		
弁室その他の構造物 <small>（弁室（現場打））</small>	壁厚 t	-20	・全箇所測定		
	床版厚 t ₁	-20			
	底版厚 t ₂	-20			
	内空幅 W ₁ , W ₂	-30			
	内空高 h	±30			
異形管防護工	幅	-30	・全箇所測定		
	高さ				
	辺長				
	体積				
推進工	基準高	±50	・発進坑、到達坑で測定		
	中心線の偏位	左右±50	・20m毎に測定。なお、推進延長が20m以下の場合は、任意で2箇所測定。		
	管底高	±50	・20m毎に測定。なお、推進延長が20m以下の場合は、両端で測定		
シールド工 （一次覆工）	管底高	±50	・5m/2m毎に測定		
	中心線の偏位	左右±100			

上記規格値は、参考として調査事業者の代表値を記載した。
 なお、上記以外の出来形管理基準については、国土交通省「土木工事施工管理基準及び規格値」を準拠する。

品質管理基準例

別途、矢板市水道工事水圧試験標準仕様書にて規格値を定める。

(一社)日本ダクタイル鉄管協会技術資料により締付けトルクを決定すること。

工種	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要
水圧試験	管路水圧試験	管内に充水し所定の水圧を負荷し、一定時間保持してこの間の圧力変化を測定	管路に漏水等異常が無く、急激な圧力降下が生じないこと	管路工事完了時	4.1.19 参照 取期として監督職員の立会い
	継手部水圧試験	試験水圧 0.5MPa 程度で 5 分保持してこの間の圧力変化を測定	0.4MPa 以上保持	φ900 mm 程度以上の管 接合時において監督職員がこの試験を指示した場合実施	4.1.19 参照
通水準備	遊離残留塩素の測定等	4.1.32 通水準備工による	上流の水道水と遊離残留塩素が同程度	使用開始前	4.1.32 参照 必要に応じて中和剤を添加
管の接合	ダクタイル鋳鉄管継手部接合検査	目視 ノギス等による計測	・各継手部所定の寸法を満たすこと ・ボルトの締め付けトルクを満たすこと	すべての継手接合箇所について実施	4.2.3～4.2.10 参照 チェックシートを使用
管の溶接	放射線透過試験	JIS Z 3104 JIS Z 3050 JIS Z 3106	・きずの分類において 3 類以上 ・内面へこみは、その部分の透過写真濃度がこれに接する母材部分の透過写真濃度を超えないこと ・溶落ちは、いかなる方向に測った寸法も 1 個につき 6 mm 又は管の内厚のいずれか小さい方を超えず、試験部の有効長さ当たり最大寸法の合計長さ 12 mm 以下とする。	検査箇所数は溶接箇所数の 10% とし、撮影 1 口につき 900 mm 以下は 1 箇所、1000 mm 以上は 2 箇所	4.3.7 参照 WSP008 参照 監督職員の指示で検査箇所増可能
	超音波探傷試験	JIS Z 3060	きずの分類において 3 類以上	検査箇所数は溶接箇所数の 10% とし、撮影 1 口につき 2 箇所 検査長は 30 cm	4.3.7 参照 監督職員の指示で検査箇所増可能
内面塗装 (無溶剤形エポキシ樹脂塗料)	外観検査	JWWA K 157	異物の混入、著しいむら、盛りもれなどがなく、均一な塗膜であること	すべての塗装箇所	4.3.4 及び 4.3.7 参照
	塗膜厚測定	JWWA K 157	0.4 mm 以上 (プライマーを含む)	監督職員の指示した箇所	4.3.4 参照
	ピンホール	JWWA K 157	ピンホール探知器を用いて検査を行い、火花が発生するような欠陥がないこと	すべての検査箇所	4.3.4 及び 4.3.7 参照
	付着性試験	JWWA K 157	へらを用いてはつきり、容易にはがれないこと	監督職員の指示した箇所	4.3.4 及び 4.3.7 参照

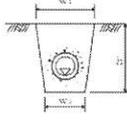
工種	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要
外面塗装 (タールエポキシ樹脂塗料)	外観検査	JWWA K 115	異物の混入、著しいむら、塗りもれなどがなく、均一な塗膜であること	すべての被覆箇所	4.3.5 及び 4.3.7 参照
	ピンホール	JWWA K 115	ピンホール探知器を用いて検査を行い、火花が発生するような欠陥がないこと	すべての被覆箇所	4.3.5 及び 4.3.7 参照
	塗膜厚測定	JWWA K 115	0.3 mm以上	すべての被覆箇所	4.3.5 及び 4.3.7 参照
	付着性試験	JWWA K 115	へらを用いてはつり、容易にはがれないこと	監督職員の指示した箇所	4.3.5 及び 4.3.7 参照
外面塗装 (ジョイントコート)	外観検査	JWWA K 153	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鈍損がないこと ・ 有害な欠陥となるめくれがないこと ・ ジョイントコート両端から 50 mm以内に膨れがないこと ・ 工場塗装部との重ね長さは 50 mm以上 ・ 耐衝撃シートについては、有害なきずがなく、テープ又は固定バンドで確実に固定されていること 	すべての被覆箇所	4.3.6 及び 4.3.7 参照
	ピンホール	JWWA K 153	ピンホール探知器を用いて検査を行い、火花が発生するような欠陥がないこと	すべての被覆箇所	4.3.6 及び 4.3.7 参照
	塗膜厚測定	JWWA K 153	加熱収縮後のジョイントコートの厚さは、1.5 mm以上	すべての被覆箇所	4.3.6 及び 4.3.7 参照

なお、上記以外の品質管理については、国土交通省「品質管理基準及び規格値」を準拠する。

● 栃木県土木工事共通仕様書 平成 31(2019)年版、令和 4 年 4 月一部改訂

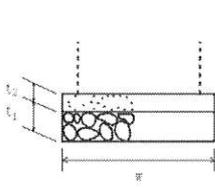
・ 管路土工、管布設

3 土木 工事 共通 仕様 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 程	29	3	制溝工 (埋戻工)	標準高 ∇	± 30
						幅 w_1, w_2	-50
						深 さ h	-30
						延 長 L	-200

施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工につき 2 箇所。 (なお、製品使用の場合の、数量計法は、規格証明書等による。)		3-2-3-29
1 施工箇所		

・ 砂基礎

3 土 木 工 事 共 通 仕 様 編	2 一 般 施 工	4 基 礎 工	1	1	一般事項 (砂込砂利) (砕石基礎工) (掘くり基礎工) (均しコンクリート)	幅 w	設計値以上
						厚 さ t_1, t_2	-30
						延 長 L	各構造物の 現積値による

施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		3-2-4-1
---	---	---------

・ 下層路盤工

3 土 木 工 事 共 通 仕 様 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 設 工	7	1	アスファルト舗装工 (下層路盤工)	基準高 ∇	± 40	± 50	—	—
						厚 さ	-45	-45	-15	-15
						幅	-50	-50	—	—

基準高は延長 40m 毎に 1 箇所の割合とし、道路中心線および端部で測定。厚さは各車線 200m 毎に 1 箇所を掘り起して測定。幅は、延長 80m 毎に 1 箇所の割合で測定。ただし、幅は設計図書に測定する点によらず延長 80m 以下の間隔で測定することができる。なお、厚さの管理を下がり管理で行う場合は掘り起して測定しなくても良い。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 10,000 m ² 以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で 1,000 m ² 以上 10,000 m ² 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500 t 以上 3,000 t 未満 厚さは個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	3-2-6-7
---	---	---------

・ 上層路盤工

3 土 木 工 事 共 通 仕 様 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 設 工	7	3	アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	厚 さ	-25	-30	-8	-10
						幅	-50	-50	—	—

幅は、延長 80m 毎に 1 箇所の割合とし、厚さは各車線 200m 毎に 1 箇所を掘り起して測定。ただし、幅は設計図書の測定点によらず延長 80m 以下の間隔で測定することができる。なお、厚さの管理を下がり管理で行う場合は掘り起して測定しなくても良い。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 10,000 m ² 以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で 1,000 m ² 以上 10,000 m ² 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500 t 以上 3,000 t 未満 厚さは個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	3-2-6-7
--	---	---------

・表層工

3 土木工事 事典 通編	2 一般 施工	8 一般 舗装 工	7	11	アスファルト舗装工 (表層工)	厚 さ	-7	-9	-2	-3
						幅	-25	-25	—	—
						平 車 種	3m ² 以下 (α)2.4mm以下 直放式 (足付式) (α)1.75mm以下			

3 土木工事 事典 通編	2 一般 施工	8 一般 舗装 工	7	11	アスファルト舗装工 (表層工)	厚 さ	-7	-9	-2	-3
						幅	-25	-25	—	—
						平 車 種	3m ² 以下 (α)2.4mm以下 直放式 (足付式) (α)1.75mm以下			

幅は、延長 80m毎に 1箇所/箇所とし、厚さは、1,000 m²に 1個/個でコアを採取して測定。ただし、幅は設計図書に規定する長さ 80m以下の閉路の測定による。ただし、4,000 m²未満の場合は最低 3個とする。また、1,000 m²未満で異常がなければ材料の納入伝票等での確認でも良い。

工事規模の考え方
中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 10,000 m²以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000 t 以上の場合は該当する。

小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。
①施工面積で 1,000 m²以上 10,000 m²未満
②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 600 t 以上 3,000 t 未満

厚さは個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならぬとともに、10 個の測定値の平均値 (X₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。

コア採取について
感振錘等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。

1,000 m²未満の舗装工事及び修繕工事においては、平車種の項目を省略することが出来る。

3-2-6-7

・区画線工

3 土木工事 事典 通編	2 一般 施工	3 共通 的工 種	9	区画線工	厚 さ t	設計値以上
					幅 w	設計値以上

3 土木工事 事典 通編	2 一般 施工	3 共通 的工 種	9	区画線工	厚 さ t	設計値以上
					幅 w	設計値以上

各線種毎に、1箇所/テストピースにより測定。

3-2-3-9

矢板市水道工事水圧試験標準仕様書

この仕様書は、矢板市上下水道事務所水道課発注の水道工事における水圧試験について定めたものである。他の項目については、日本水道協会発行『水道工事標準仕様書』を準拠する。

- 1 受注者は配管終了後、継手の水密性を確認するため、管路の水圧試験を行わなければならない。
- 2 試験を行う場合は、監督員と事前に日時を協議し立会いのもと実施すること。
- 3 試験方法は管内充水方式とし、布設したダクタイル鋳鉄管、水道配水用ポリエチレン管及び水道用ポリエチレン二層管を 0.75Mpa で加圧し 1 時間後の水圧が 0.6Mpa 以上保持していれば合格とする。
- 4 管内への充水は一昼夜程度かけ、管内へ侵入した空気を十分に排気することが望ましいが、管径や配管形状、地理的な条件により変動するため、監督員と協議し決定すること。
- 5 試験値が合格値を下回った場合、管路や弁栓類を点検し充水作業後、再試験を行わなければならない。
- 6 試験器の取付け位置は、配管端部に取付けた管栓及び管栓帽又は消火栓とする。
- 7 試験器は自記録式又はデータログ式とする。自記録式ではチャート紙を使用し、データログ式ではチャート紙形式でデータを出力すること。なお、自記録式のチャート紙は 1 時間用又は 4 時間用を使用すること。
- 8 成果物はチャート紙と記録写真を提出することとし、記録写真のみは不可とする。
- 9 水道配水用ポリエチレン管の試験は EF 接合後 1 時間以上経過してから行うこと。
- 10 水道配水用ポリエチレン管の試験については、予備加圧（0.75Mpa で加圧し 10 分間放置）後に試験を行うことも可とする。
- 11 管径 900 mm以上の鋳鉄管継手ではテストバンドを使用した水圧試験とし、試験方法は日本水道協会発行『水道工事標準仕様書【土木工事編】』に記載のとおりとする。

※試験器及び接続部材は受注者が用意すること。

※試験に使用する管栓や管栓帽は発注者が貸与するが、工事が重なり、受注者の求める日時に貸与できない場合がある。この時、受注者の都合で試験を実施する場合は、受注者の負担で部材を用意すること。

特記仕様書

1. ダクティル鋳鉄管耐震継手管（GX形管）を含む工事の主任技術者（監理）又は現場代理人のいずれかの者に、配水管技能者を当てなければならない。

なお、配水管技能者とは下記 表-1 の資格を有する者とする。

表-1 対象工事と資格

配置対象工事	配水管技能者の資格	登録等の区分
500mm未満のダクティル鋳鉄管耐震継手管（GX形管）を含む工事	公益社団法人日本水道協会の配水管技能者登録	「耐震登録」又は「耐震継手」
	一般社団法人日本ダクティル鋳鉄管協会の継手接合研修会の受講証を有する者	「耐小」（耐震管φ450以下）

※配水管工技能講習会（公益社団法人日本水道協会主催）受講修了者に交付される登録証の有効期限は発行日から5年間。有効期限を迎える登録証は更新手続きが必要。

2. 水道配水用ポリエチレン管（PEP, HPPE）を含む工事の主任技術者（監理）又は現場代理人のいずれかの者に、配水管技能者を当てなければならない。

なお、配水管技能者とは下記 表-2 の資格を有する者とする。

表-2 対象工事と資格

配置対象工事	配水管技能者の資格	登録等の区分
水道配水用ポリエチレン管を含む工事	配水用ポリエチレンパイプシステム協会の配管施工講習会（配水管用）の受講修了者又は旧団体（「水道用ポリエチレンパイプシステム研究会」「配水用ポリエチレン管協会」）の施工講習会の受講修了者。また、これと同等のメーカー（積水化学工業株、株クボタシーアイ）が実施する講習会を受講し、受講証を取得した者	

3. 配水管から分岐し、給水装置工事を施工する場合は、水道法施行規則第 36 条に基づき、給水装置工事主任技術者及び技能者を適正に配置すること。

工事設計書

				課長		課長補佐		主任・係長		審査者		検算		設計者	
--	--	--	--	----	--	------	--	-------	--	-----	--	----	--	-----	--

工事名称 配水管布設工事 第3号	
<u>工事費総額</u> ¥-	
(内訳) 工事価格 ¥-	
消費税 ¥-	
発注者名 矢板市上下水道事務所水道課 工 期 工事場所 矢板市安沢地内 場所名称	共通仮設費補正： 一般交通等の影響あり② *1.2 現場管理費補正(工事場所)： 一般交通等の影響あり② *1.1 一般管理費補正(契約保証)： 金銭的保証を必要 +0.04%
工事概要 当初設計	変更設計

総括情報表

事務所名 設計書区分/番号 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 設計書名	008 矢板 (09 栃木県) 2025-06-10		
	当世代	前世代	
前払率 工事種類 工種区分 施工地域・工事場所区分 現場環境改善費補正 一般管理費補正(契約保証) 緊急工事区分による補正 豪雪補正	補正なし 水道工事(水道実務必携基準) 開削工事及び小口径推進工事等 一般交通等の影響あり② 金銭的保証を必要 補正なし		

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
配水管	1	式			
配水管布設工事	1	式			
配水管布設工（労務費）DIP φ 150	1	式			
鋳鉄管吊込み据付工（機械力） 呼び径150mm バックホウ クレーン機能付2.9t吊（山積0.45/平積0.35m ³ ）	50.6	m			代価第1号 【水道事業実務必携（R6）】第一編-第2章-第3節-53頁
GX形継手接合工 直管 呼び径150mm	9	口			代価第2号 【水道事業実務必携（R6）】第一編-第2章-第3節-58頁
GX形継手接合工 異形管 呼び径150mm	9	口			代価第3号 【水道事業実務必携（R6）】第一編-第2章-第3節-58頁
GX形継手接合工 異形管（G-Link） 呼び径150mm	26	口			代価第4号 【水道事業実務必携（R6）】第一編-第2章-第3節-58頁
マニカ継手工 呼び径150mm 特殊押輪使用 割増率15% 離脱防止継手等による割増を行わない 耐震型補強金具使用しない	2	口			代価第5号 【水道事業実務必携（R6）】第一編-第2章-第3節-54頁
鋳鉄管継手取外し工（K形） 呼び径75mm以下	1	口			代価第6号 【水道事業実務必携（R6）】第一編-第2章-第10節-107頁

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
鋳鉄管切断工 呼び径150mm エンジンカッター使用 切断のみ	13	口			代価第7号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第8節-91頁
既設管撤去切断工(ダクタイル鋳鉄管(FCD)) エンジンカッター使用 呼び径150mm	12	口			代価第8号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第10節-106頁
ポリエチレン管据付工 呼び径13mm	0.5	m			代価第9号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第6節-86頁
ナール分水栓建込み工 鋳鉄管 配水管呼び径150mm 取り出し径13mm	1	箇所			代価第10号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第4節-192頁
ポリエチレン管継手工 呼び径13mm	2	口			代価第11号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第6節-86頁
ポリエチレン管切断工 呼び径13mm	1	口			代価第12号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第8節-97頁
管明示シート工(手間のみ)	52	m			代価第13号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-66頁
管明示テープ工(手間のみ) 呼び径・寸法φ150×5000mm 天端明示無	52	m			代価第14号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-65頁
通水試験工 試験距離：52.0m	52	m			代価第15号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第5章-第1節-129頁

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
配水管布設工（資材費）DIP φ 150	1	式			
GX形直管 φ 150×5m 1種内面粉体	8	本			管:
GX形直管 φ 150×5m 1種内面粉体	2	本			市支給品 支管:
GX形二受T字管 φ 150×100	1	個			管:
GX形曲管 45° φ 150	5	個			管:
GX形曲管 5° 5/8 φ 150	2	個			管:
GX形両受曲管 45° φ 150	1	個			管:
GX形両受曲管 22° 1/2 φ 150	1	個			管:
GX形継輪 φ 150	5	個			管:

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
GX形継輪 φ 150	1	個			市支給品 支管:
GX形両受短管 φ 150	2	個			管:
GX形両受短管 φ 150	1	個			市支給品 支管:
GX形ライフ φ 150	5	個			管:
GX形ライフ φ 150	2	個			市支給品 支管:
GX形G-Link φ 150 コム輪、ボルト・ナット共	23	組			管:
GX形G-Link φ 150 コム輪、ボルト・ナット共	3	組			市支給品 支管:
接合セット φ 150 コム輪、押輪、T頭B・N共	9	組			市支給品 支管:
K形管帽 内面粉体 φ 150 コム輪、ボルト・ナット共	1	個			市支給品 支管:

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
GX形管帽 φ150 コム輪、ボルト・ナット共	1	組			管:
ポリエチレン管 1種二層管 φ13	0.5	m			管:
PP用オス・メスシマ付ソケット φ13	1	個			管:
分水弁 铸铁管用 φ150×20 密着コア、フィルム共	1	個			管:
メーターユニオン(異径) φ20×13P	1	個			管:
埋設標示シート 幅150mm ダブル	52	m			
管明示テープ 幅30mm 長さ20m/個 年号入	33.1	m			
配水管布設工(労務費) DIP φ100	1	式			
铸铁管吊込み据付工(機械力) 呼び径100mm ハックホ クレーン機能付2.9t吊(山積0.45/平積0.35m ³)	7.4	m			代価第16号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-53頁

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
GX形継手接合工 直管 呼び径100mm	1	口			代価第17号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-58頁
GX形継手接合工 異形管 呼び径100mm	5	口			代価第18号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-58頁
GX形継手接合工 異形管(G-Link) 呼び径100mm	4	口			代価第19号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-58頁
メカニカル継手工 呼び径100mm 特殊押輪使用 割増率15% 離脱防止継手等による割増を行わない 耐震型補強金具使用しない	2	口			代価第20号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-54頁
鋳鉄管切断工 呼び径100mm エンジンカッター使用 切断のみ	4	口			代価第21号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第8節-91頁
既設管撤去切断工(ポリエチレン管) 呼び径100mm	2	口			代価第22号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第10節-106頁
管明シート工(手間のみ)	7.9	m			代価第13号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-66頁
管明テーフ工(手間のみ) 呼び径・寸法 φ150×5000mm 天端明示無	7.9	m			代価第14号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-65頁
通水試験工 試験距離：7.9m	7.9	m			代価第23号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第5章-第1節-129頁

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
配水管布設工（資材費）DIPφ100	1	式			
GX形直管 φ100×4m 1種内面粉体	2	本			管:
GX形浅層埋設形フランジ付T字管 φ100×75 7.5K	1	個			管:
GX形曲管 45° φ100	1	個			市支給品 支管:
GX形曲管 11° 1/4 φ100	1	個			管:
GX形両受曲管 45° φ100	2	個			市支給品 支管:
GX形ライフ φ100	1	個			市支給品 支管:
GX形G-Link φ100 コム輪、ボルト・ナット共	4	組			市支給品 支管:
接合セット φ100 コム輪、押輪、T頭B・N共	5	組			市支給品 支管:

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
ダクタイル鋳鉄管用異種管継手 GX型 内面粉体 φ100	1	個			管:
埋設標示シート 幅150mm ダブル	7.9	m			
管明示テープ 幅30mm 長さ20m/個 年号入	3.3	m			
仕切弁設置工 (労務費) φ150・φ100	1	式			
鋳鉄製仕切弁(機械力)縦型設置工 呼び径150mm	3	基			代価第24号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第9節-98頁
鋳鉄製仕切弁(機械力)縦型設置工 呼び径100mm以下	1	基			代価第25号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第9節-98頁
ねじ式弁筐設置工 A, B形 1号 底版使用する	4	箇所			代価第26号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第9節-102頁
仕切弁設置工 (資材費) φ150・φ100	1	式			
GX型ワトソール仕切弁 φ150 7.5K	2	基			管:

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
GX型ソトシール仕切弁(両受) φ 150 7.5K	1	基			管:
GX型ソトシール仕切弁 φ 100 7.5K	1	基			管:
仕切弁筐 浅埋用 φ 50～φ 200 座台共	2	基			
仕切弁筐 φ 50～φ 200 座台共	2	基			
消火栓設置工(労務費) φ 75	1	式			
地下式消火栓設置工 単口 機械施工	1	箇所			代価第27号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第9節-101頁
鉄蓋設置工 円形4号 内寸600mm	1	個			代価第28号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第9節-102頁
上部壁設置工 円形4号 内寸600mm 高さ200mm	1	個			代価第29号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第9節-102頁
下部壁設置工 円形4号 内寸600mm 高さ300mm	1	個			代価第30号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第9節-102頁

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
底版設置工 円形4号 内寸600mm 高さ40mm	1	個			代価第31号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第9節-102頁
フレンジ継手工 呼び径75(80)mm JWWA7.5K(F12)	1	口			代価第32号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-56頁
地下式消火栓撤去工 単口 機械施工	1	箇所			代価第33号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第9節-101頁
消火栓設置工(資材費) φ75	1	式			
地下式単口消火栓(浅埋用) 内面粉体 φ75×65	1	基			管:
ボール式耐震補修弁(レバー式) 内面粉体 φ75 L150	1	個			管:
消火栓用鉄蓋 円形 φ600 鉄蓋、受枠共	1	組			
消火栓・空気弁用ボックス 上部壁 内径600 H200	1	個			
消火栓・空気弁用ボックス 下部壁 内径600 H300	1	個			

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
消火栓・空気弁用ボックス 底版 内径600 H40	1	個			
フランジ 接合材 φ75 芯金入パッキン、ステンボルト・ナット共	2	組			管:
土工	1	式			
土工	1	式			
土工	1	式			
舗装版切断 アスファルト舗装版, 15cm以下, -, -	71	m			施工第1号
舗装版直接掘削積込工(バックホ) 舗装厚0cm超え10cm以下 バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3]	32	m2			代価第34号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-167頁
舗装版切断汚泥運搬費 2tトラック車片道25kmまで	0.2	m3			
舗装版切断汚泥処分費 汚泥比重 1.20~1.10	0.2	m3			処:

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
バックホ掘削積込工 バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3]	58	m3			代価第35号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-161頁
管路埋戻・締固め工(機械埋戻・バックホ) バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3] 砂 クッション用ロス率：0.26	19	m3			代価第36号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-164頁
管路埋戻・締固め工(機械埋戻・バックホ) バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3] 発生土	11	m3			代価第37号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-164頁
管路埋戻・締固め工(機械埋戻・バックホ) バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3] 再生クラッシャーラン RC-40ロス率：0.26	19	m3			代価第38号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-164頁
アスファルト塊・コンクリート塊(無筋)運搬工 ダンプトラック4t積 バックホ山積0.28m3[平積0.20m3] DID区間あり 6.5km以下 タイヤ良好	3	m3			代価第39号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-179頁
アスファルト廃材処理費	3	m3			処:
発生土運搬工 ダンプトラック4t積 バックホ山積0.28m3[平積0.20m3] DID区間なし 10.0km以下 タイヤ良好	48	m3			代価第40号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-175頁
残土受入費 砂利採取場への搬出(整地費用を含む)	48	m3			処:
舗装工(人力施工) 歩道 仕上り厚3cm プライムコート 砂散布あり アスファルト混合物(エコスラグ入り再生密粒度アスコン(13))	6	m2			代価第41号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-179頁

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
舗装工(人力施工) 車道及び路肩 仕上り厚5cm タックコート 砂散布あり アスファルト混合物(エコスタック入り再生密粒度アスコン(20))	26	m2			代価第42号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-179頁
舗装工(人力施工) 車道及び路肩 仕上り厚5cm プライムコート 砂散布あり アスファルト混合物(エコスタック入り再生粗粒度アスコン(20))	26	m2			代価第43号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-179頁
路盤工(施工幅1.8m未満) 1層仕上げ 仕上り厚15cm 再生クラッシャーレン RC-40	3	m2			代価第44号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-170頁
路盤工(施工幅1.8m未満) 1層仕上げ 仕上り厚20cm 粒度調整砕石 M-40	26	m2			代価第45号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-170頁
路盤工(施工幅1.8m未満) 1層仕上げ 仕上り厚10cm 再生クラッシャーレン RC-40	3	m2			代価第46号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-170頁
路盤工(施工幅1.8m未満) 1層仕上げ 仕上り厚15cm 再生クラッシャーレン RC-40	26	m2			代価第44号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-170頁
軽量鋼矢板たて込み・引抜き工(両側分)(機械施工) 掘削深2.0m以下 たて込み バックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3] 引抜きバックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3]	23.8	m			代価第47号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第2節-47頁
軽量金属製支保材設置 水圧式ハイポット 1段(2.0m以下)	23.8	m			代価第48号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第2節-50頁
仮設工	1	式			

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
仮設工	1	式			
仮設工	1	式			
交通誘導警備員B	1	式			代価第49号 【土木工事標準積算基準書(共通編)(R6)】Ⅱ-5-21-1
支給品・現場発生品	1	式			
支給品・現場発生品	1	式			
支給品・現場発生品	1	式			
現場発生品及び支給品運搬工 片道運転距離L: 3.4km 平均積載量: 3t	1	回			代価第50号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第1章-第2節-29頁 支給品運搬
現場発生品及び支給品運搬工 片道運転距離L: 4.7km 平均積載量: 0.3t	1	回			代価第51号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第1章-第2節-29頁
鉄スクラップ 故銃 A	0.3	t			建2025年4月794頁 積2025年4月77頁 現:

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
【 直接工事費計 】					
共通仮設費率額	1	式			
共通仮設費積上額	1	式			
運搬費	1	式			内訳第1号
【 共通仮設費計 】					
【 純工事費 】					
現場管理费率額	1	式			
【 現場管理費計 】					
【 工事原価 】					

本工事内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理费率額	1	式			
【 一般管理費計 】					
【 工事価格 】					
【 消費税等相当額 】					
【 工事費計 】					

施工内訳表

式

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材の運搬 製品長：12m以内 距離：5.5km 冬期割増なし 深夜早朝割増なし 往復	4.45	t			代価第52号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第1章-第2節-14頁
仮設材積込・取卸費(鋼矢板, H鋼, 覆工板等) 基地積込～現場～基地取卸	4.45	t			代価第53号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第1章-第2節-15頁
【合計】	1	式			

鑄鉄管吊込み据付工(機械力)

呼び径150mm バックホウ クレーン機能付2.9t吊(山積0.45/平積0.35m³)

施工代価表

代価第1号

頁0020

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-53頁

10 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転費[標準型・クレーン機能付・排対型(1次)] 山積0.45m ³ [平0.35]2.9t吊		h			
【合計】	10	m			
【単位当り】	1	m			

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-58頁

1 口 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工 割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-58頁

1 口 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-58頁

1口当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【合計】	1	口			
【単位当り】	1	口			

メカニカル継手工

呼び径150mm 特殊押輪使用 割増率15% 離脱防止継手等による割増を行わない 耐震型補強金具使用しない

施工代価表

代価第5号

頁0024

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-54頁

1口当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【合計】	1	口			
【単位当り】	1	口			

鑄鉄管継手取外し工(K形)
呼び径75mm以下

施工代価表

代価第6号

頁0025

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第10節-107頁

1口当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【合計】	1	口			
【単位当り】	1	口			

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第8節-91頁

1 口 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の30%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

施工代価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の30%を上限とする
【合計】	1	口			
【単位当り】	1	口			

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第6節-86頁

10 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
【合計】	10	m			
【単位当り】	1	m			

サドル分水栓建込み工
 鋳鉄管 配水管呼び径150mm 取り出し径13mm

施工代価表

代価第10号

頁0029

【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第4節-192頁

1 箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の12%を上限とする
【合計】	1	箇所			
【単位当り】	1	箇所			

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第6節-86頁

1口当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工 割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【合計】	1	口			
【単位当り】	1	口			

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第8節-97頁

1口当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工 割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【合計】	1	口			
【単位当り】	1	口			

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-66頁

100 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
【合計】	100	m			
【単位当り】	1	m			

施工代価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
【合計】	100	m			
【単位当り】	1	m			

通水試験工
試験距離：52.0m

施工代価表

代価第15号

頁0034

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第5章-第1節-129頁

52.0 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
通水試験工 給水車：不要		日			
【合計】	52.0	m			
【単位当り】	1	m			

鑄鉄管吊込み据付工(機械力)

呼び径100mm バックホウ クレーン機能付2.9t吊(山積0.45/平積0.35m³)

施工代価表

代価第16号

頁0035

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-53頁

10 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転費[標準型・クレーン機能付・排対型(1次)] 山積0.45m ³ [平0.35]2.9t吊		h			
【合計】	10	m			
【単位当り】	1	m			

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-58頁

1 口 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-58頁

1口当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【合計】	1	口			
【単位当り】	1	口			

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-58頁

1口当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工 割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【合計】	1	口			
【単位当り】	1	口			

メカニカル継手工

呼び径100mm 特殊押輪使用 割増率15% 離脱防止継手等による割増を行わない 耐震型補強金具使用しない

施工代価表

代価第20号

頁0039

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-54頁

1口当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【合計】	1	口			
【単位当り】	1	口			

施工代価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の30%を上限とする
【合計】	1	口			
【単位当り】	1	口			

施工代価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
配管工 割増単価非公表の為割増無し		人			
諸雑費	1	式			労務費の7%を上限とする
【合計】	1	口			
【単位当り】	1	口			

通水試験工
試験距離：7.9m

施工代価表

代価第23号

頁0042

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第5章-第1節-129頁

7.9 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
通水試験工 給水車：不要		日			
【合計】	7.9	m			
【単位当り】	1	m			

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第9節-98頁

1基 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工 割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
バックホ運転費[標準型・クレーン機能付・排対型(1次)] 山積0.45m ³ [平0.35]2.9t吊		h			
【合計】	1	基			
【単位当り】	1	基			

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第9節-98頁

1基 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工 割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
トラック運転費[クレーン装置付] 4～4.5t積 2.9t吊		h			
【合計】	1	基			
【単位当り】	1	基			

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第9節-102頁

1 箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
【合計】	1	箇所			
【単位当り】	1	箇所			

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第9節-101頁

1 箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工 割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
トラック運転費[クレーン装置付] 4～4.5t積 2.9t吊		h			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【合計】	1	箇所			
【単位当り】	1	箇所			

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第9節-102頁

1 個 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
【合計】	1	個			
【単位当り】	1	個			

上部壁設置工
円形4号 内寸600mm 高さ200mm

施工代価表

代価第29号

頁0048

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第9節-102頁

1 個 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
【合計】	1	個			
【単位当り】	1	個			

下部壁設置工
円形4号 内寸600mm 高さ300mm

施工代価表

代価第30号

頁0049

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第9節-102頁

1 個 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
【合計】	1	個			
【単位当り】	1	個			

底版設置工
円形4号 内寸600mm 高さ40mm

施工代価表

代価第31号

頁0050

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第9節-102頁

1 個 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
【合計】	1	個			
【単位当り】	1	個			

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-56頁

1口当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【合計】	1	口			
【単位当り】	1	口			

施工代価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工 割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
トラック運転費[クレーン装置付] 4～4.5t積 2.9t吊		h			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	箇所			
【 単位当り 】	1	箇所			

舗装版直接掘削積込工(バックホ)

舗装厚0cm超え10cm以下 バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3]

施工代価表

代価第34号

頁0053

【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-167頁

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
バックホ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]		h			
諸雑費	1	式			端数処理
【合計】	100	m2			
【単位当り】	1	m2			

バックホウ掘削積込工
 バックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3]

施工代価表

代価第35号

頁0054

【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-161頁

100 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]		h			
諸雑費	1	式			端数処理
【合計】	100	m3			
【単位当り】	1	m3			

施工代価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			埋め戻し
普通作業員		人			埋め戻し
普通作業員		人			クンパ 締固め
バックホ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]		h			投入
クンパ 運転		日			クンパ 締固め
砂 クッション用	126	m3			ロス率0.26
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

施工代価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			埋め戻し
普通作業員		人			埋め戻し
普通作業員		人			クハ 締固め
バックホ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]		h			投入
クハ 運転		日			クハ 締固め
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

施工代価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			埋め戻し
普通作業員		人			埋め戻し
普通作業員		人			クハ 締固め
バックホ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]		h			投入
クハ 運転		日			クハ 締固め
再生クラッシャーラン RC-40	126	m3			ロス率0.26
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

アスファルト塊・コンクリート塊(無筋)運搬工

ダンプトラック4t積 ハックホ山積0.28m3[平積0.20m3] DID区間あり 6.5km以
下 タイヤ良好

施工代価表

代価第39号

頁0058

【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-179頁

10 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ダンプトラック運転		日			
【合計】	10	m3			
【単位当り】	1	m3			

発生土運搬工
 ダンプトラック4t積 バックホウ山積0.28m3[平積0.20m3] DID区間なし
 10.0km以下 タイヤ良好

施工代価表

代価第40号

頁0059

【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-175頁

10 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ダンプトラック運転		日			
【合計】	10	m3			
【単位当り】	1	m3			

舗装工(人力施工)

歩道 仕上り厚3cm プライムコート 砂散布あり アスファルト混合物(エコスラグ入り再生密粒度アスコン(13))

施工代価表

代価第41号

頁0060

【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-179頁

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
アスファルト混合物 エコスラグ入り再生密粒度アスコン(13)	7.26	t			100*(3/100)*2.2*(1+0.1)
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	126	L			
振動ロー運転		日			
振動コンパクタ運転		日			
砂散布費	1	式			(労+機)の3%
諸雑費	1	式			(労+機)の19%を上限とする

水道課

舗装工(人力施工)

歩道 仕上り厚3cm プライムコート 砂散布あり アスファルト混合物(エクスラグ入り再生密粒度アスコン(13))

施工代価表

代価第41号

頁0061

【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-179頁

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
【合計】	100	m2			
【単位当り】	1	m2			

舗装工(人力施工)

車道及び路肩 仕上り厚5cm タックコート 砂散布あり アスファルト混合物(エコラック入り再生密粒度アスコン(20))

施工代価表

代価第42号

頁0062

【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-179頁

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
アスファルト混合物 エコラック入り再生密粒度アスコン(20)	12.573	t			100*(5/100)*2.35*(1+0.07)
アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	43	L			
振動ローラ運転		日			
振動コンパクタ運転		日			
砂散布費	1	式			(労+機)の3%
諸雑費	1	式			(労+機)の17%を上限とする

水道課

舗装工(人力施工)

車道及び路肩 仕上り厚5cm プライムコート 砂散布あり アスファルト混合物(エコラ
グ入り再生粗粒度アスコン(20))

施工代価表

代価第43号

頁0064

【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-179頁

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
アスファルト混合物 エコラグ入り再生粗粒度アスコン(20)	12.573	t			100*(5/100)*2.35*(1+0.07)
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	126	L			
振動ロー運転		日			
振動コンパクタ運転		日			
砂散布費	1	式			(労+機)の3%
諸雑費	1	式			(労+機)の17%を上限とする

水道課

舗装工(人力施工)

車道及び路肩 仕上り厚5cm プライムコート 砂散布あり アスファルト混合物(エコラ
グ入り再生粗粒度アスコ(20))

施工代価表

代価第43号

頁0065

【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-179頁

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
【合計】	100	m2			
【単位当り】	1	m2			

路盤工(施工幅1.8m未満)
1層仕上げ 仕上り厚15cm 再生クランチャーラン RC-40

施工代価表

代価第44号

頁0066

【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-170頁

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
再生クランチャーラン RC-40	19.05	m3			100*(15/100)*(1+0.27)
クランパ° 運転		日			
諸雑費	1	式			端数処理
【合計】	100	m2			
【単位当り】	1	m2			

路盤工(施工幅1.8m未満)
1層仕上げ 仕上り厚20cm 粒度調整砕石 M-40

施工代価表

代価第45号

頁0067

【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-170頁

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
粒度調整砕石 M-40	25.4	m3			100*(20/100)*(1+0.27)
クワ運転		日			
諸雑費	1	式			端数処理
【合計】	100	m2			
【単位当り】	1	m2			

路盤工(施工幅1.8m未満)
1層仕上げ 仕上り厚10cm 再生クランチャーレン RC-40

施工代価表

代価第46号

頁0068

【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-170頁

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
再生クランチャーレン RC-40	12.7	m3			100*(10/100)*(1+0.27)
クランパ° 運転		日			
諸雑費	1	式			端数処理
【合計】	100	m2			
【単位当り】	1	m2			

軽量鋼矢板たて込み・引抜き工(両側分)(機械施工)

掘削深2.0m以下 たて込み バックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3] 引抜きバ
ックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3]

施工代価表

代価第47号

頁0069

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第2節-47頁

100 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]		h			たて込み
バックホウ運転 バックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3]		h			引抜き
諸雑費	1	式			端数処理
【合計】	100	m			
【単位当り】	1	m			

施工代価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			端数処理
【合計】	100	m			
【単位当り】	1	m			

施工代価表

【土木工事標準積算基準書(共通編)(R6)】Ⅱ-5-21-1

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B		人			
【合計】	1	式			
【単位当り】	1	式			

現場発生品及び支給品運搬工
 片道運転距離L：3.4km 平均積載量：3t

施工代価表

代価第50号

頁0072

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第1章-第2節-29頁

1回 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
トラック運転費[クレーン装置付] 4～4.5t積 2.9t吊		h			
【合計】	1	回			
【単位当り】	1	回			

現場発生品及び支給品運搬工
片道運転距離L：4.7km 平均積載量：0.3t

施工代価表

代価第51号

頁0073

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第1章-第2節-29頁

1回 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
トラック運転費[クレーン装置付] 4～4.5t積 2.9t吊		h			
【合計】	1	回			
【単位当り】	1	回			

仮設材の運搬

製品長：12m以内 距離：5.5km 冬期割増なし 深夜早朝割増なし 往復

施工代価表

代価第52号

頁0074

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第1章-第2節-14頁

1 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃	2	t			
【合計】	1	t			
【単位当り】	1	t			

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第1章-第2節-15頁

1 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼材積込費					
基地積込	1	t			
鋼材取卸費					
場内取卸	1	t			
鋼材積込費					
場内積込	1	t			
鋼材取卸費					
基地取卸	1	t			
【合計】	1	t			
【単位当り】	1	t			

施工パッケージ

積算単位：m

区分	代表機労材規格	構成比	単価	補正式	備考
K 東京	機械	6.05			
K1 東京	コンクリートカッタ[ハキューム式・湿式] 切削深20cm級プレート径φ56cm	4.09			令和6年度版建設機械等損料表11-9
R 東京	労務	55.5			
R1 東京	特殊作業員	19.28			
R2 東京	土木一般世話役	9.9			
R3 東京	普通作業員	8.33			
Z 東京	材料	38.45			
Z1 東京	プレート(コンクリートカッタ) 径22インチ	35.21			
Z2 東京	ガソリンレギュレータースタンド	2.19			

公表単価一覧表

工事名：配水管布設工事 第3号

名称	規格	単位	単価：円	適用区分			備考
				機	労	材	
鋳鉄管用K形管帽	内面粉体 φ150 ゴム輪、ボルト・ナット共	個	54,000			○	
分水サドル	鋳鉄管用 φ150×20 密着コア、フィルム共	個	24,700			○	
管明示テープ 1巻	幅30mm 長さ20m/個 年号入	m	110			○	
ダクタイトル鋳鉄管用 異種管継手 GX型	内面粉体 φ100	個	58,800			○	
仕切弁筐	φ50～φ200 座台共	個	133,000			○	
仕切弁筐 浅埋用	φ50～φ200 座台共	個	105,000			○	
地下式単口消火栓(浅埋用)	内面粉体 φ75×65	個	106,000			○	
消火栓用鉄蓋	円形 φ600 鉄蓋、受枠共	組	138,000			○	
消火栓・空気弁用ボックス	上部壁 内径600 H200	個	53,000			○	
消火栓・空気弁用ボックス	下部壁 内径600 H300	個	37,000			○	
消火栓・空気弁用ボックス	底版 内径600 H40	個	32,000			○	
フランジ接合材	φ75 芯金入パッキン、ステンボルト・ナット共	個	13,900			○	

(備考)

- 1 本表に記載されている単価は、見積り及び特別調査により決定したものである。
- 2 適用区分に○印があるものは、下記の価格を示す。
「機」: 機械器具等の損料または賃料
「労」: 労務費
「材」: 材料費

令和7年度 番号	設計 の 理由	工期	施工方法		市長
					副市長
<h2>当 初 設 計 書</h2> <h3>配水管布設工事 第3号</h3> <p>矢板市 安沢 地内</p> <h4>工 事 概 要</h4> <p>工事延長 L= 59.88 m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダクタイル鑄鉄管布設工 φ 150mm L= 51.95 m ・ダクタイル鑄鉄管布設工 φ 100mm L= 7.93 m ・仕切弁設置工 φ 150mm 3 箇所 ・仕切弁設置工 φ 100mm 1 箇所 ・土工、路面復旧工 1 式 					
<p>設計者</p>					

配水管布設工事 第3号

明細書

工 種	種 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
直接工事費計							
共通仮設費							
	運搬費		式	1			
	運搬費	(積み上げ)	式	1			
	準備費		式	1			
	仮設費	(積み上げ)	式	1			
	技術管理費		式	1			
	営繕損料		式	1			
	労務者輸送費		式	1			
	安全費		式	1			
	環境対策費		式	1			
共通仮設費計							
純工事費			式	1			
	現場管理費		式	1			

配水管布設工 (労務費) DIP φ150 mm

内 訳 書

(第 1 号)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
鑄鉄管布設工	機械 φ 150	m	50.6			
GX形継手接合工	直管 φ 150	口	9			
GX形継手接合工	異形管 φ 150	口	9			
GX形継手接合工	異形管 (G-Link) φ 150	口	26			
メカ-カ継手工	特殊押輪 φ 150	口	2			
メカ-カ継手取り外し	特殊押輪 φ 75	口	1			
鑄鉄管切断工	(新設管) φ 150	口	13			
鑄鉄管切断工	(既設管) φ 150	口	12			
ポリエチレン管布設工	機械 φ 13	m	0.5			
サドル分水栓設置工	φ 150×φ 13	箇所	1			
ポリエチレン管継手工	φ 13	箇所	2			
ポリエチレン管切断工	φ 13	口	1			
管理設シ-ト工	W=150mm	m	52.0			

配水管布設工 (資材費) DIP φ150 mm

内 訳 書

(第 2 号)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
直管	DIP(GX) φ150×5m	本	10			うち新品8、支給品2
二受T字管	GX形 φ150×100	個	1			
曲管45°	GX形 φ150×45°	個	5			
曲管5 5/8°	GX形 φ150×5 5/8°	個	2			
両受曲管45°	GX形 φ150×45°	個	1			
両受曲管22 1/2°	GX形 φ150×22 1/2°	個	1			
継輪	GX形 φ150	個	6			うち新品5、支給品1
両受短管	GX形 φ150	個	3			うち新品2、支給品1
ライナ	GX形 φ150	個	7			うち新品5、支給品2
G-Link	φ150	個	26			うち新品23、支給品3
GX接続押輪	φ150	個	9			うち新品0、支給品9
管栓帽	φ150	個	2			うち新品1、支給品1
ポリエチレン管	φ13	m	0.5			

配水管布設工 (労務費) DIP φ100 mm

内 訳 書

(第 3 号)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
鑄鉄管布設工	機械 φ 100	m	7.4			
GX形継手接合工	直管 φ 100	口	1			
GX形継手接合工	異形管 φ 100	口	5			
GX形継手接合工	異形管 (G-Link) φ 100	口	4			
カニカ継手工	特殊押輪 φ 100	口	2			
鑄鉄管切断工	(新設管) φ 100	口	4			
ポリエチレン管切断工	(既設管) φ 100	口	2			
管埋設シート工	W=150mm	m	7.9			
管明示テープ工		m	7.9			
通水試験工	φ 800mm 以下 給水車不要	m	7.9			
計						

配水管布設工（資材費） DIP φ100 mm

内 訳 書

（第 4 号）

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
直管	DIP(GX) φ100×4m	本	2			
浅層埋設形フランジ付T字管	GX形 φ100×75	個	1			
	GX形 φ100×45°	個	1			うち新品0、支給品1
曲管45°	GX形 φ100×11 1/4°	個	1			
曲管11 1/4°	GX形 φ100×45°	個	2			うち新品0、支給品2
両受曲管45°	GX形 φ100	個	1			うち新品0、支給品1
ライナ	φ100	個	4			うち新品0、支給品4
G-Link	φ100	個	5			うち新品0、支給品5
GX接続押輪	DIP×HPPE φ100	個	1			
異種管接続材	塩ビ製 W=150mm L=50m	m	7.9			
管埋設シート		m	3.3			
管明示テープ						
計						

土工

内 訳 書

(第 9 号)

名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	備	考
舗装版切断工	As版 切断深 20cmまで			m		71							
舗装版直接掘削・積込み	As版 舗装厚 15cm以下			m ²		32							
舗装版切断濁水運搬費	L=15.8km			m ³		0.2							
舗装切断汚泥処理費				m ³		0.2							
機械掘削	0.28m ³ 礫質土			m ³		58							
埋戻工	クッション用砂			m ³		19							
埋戻工	0.28m ³ 投入、クソパ 発生土			m ³		11							
埋戻工	0.28m ³ 投入、クソパ RC-40			m ³		19							
アスファルト廃材運搬	4 t ダンプ As塊 L=5.7km			m ³		3							
アスファルト廃材処理費				m ³		3							
残土処分	4 t ダンプ 土砂 L=8.0km 良			m ³		48							
表層工	イロシガ ^レ 入再生密粒度As (13) -50 t=3cm 車道・人力施工			m ²		6							
表層工	イロシガ ^レ 入再生密粒度As (20) -50 t=5cm 車道・人力施工			m ²		26							

軽量鋼矢板土留使用数量

①H=2.0m L=23.75m

軽量鋼矢板 23.75 ÷ 0.25 = 95.0 = 95 枚使用(片側)
 :
 腹起し : 23.75 ÷ 4.00 = 5.9 = 6 本使用(片側)
 切り梁 : 6 × 2 = 12 本使用(腹起し1本に2本使用)

軽量鋼矢板土留使用重量

①H=2.0m L=23.75m

	使用数量	高さ	単位重量	
軽量鋼矢板	95 × 2	× 2.0	× 10.4	= 3952.0 kg
:				
腹起し	: 6 × 2		× 38.6	= 463.2 kg
切り梁	: 12		× 3.2	= 38.4 kg
合計				4453.6 kg

令和 7 年度

配水管布設工事 第3号

矢板市 安沢 地内

当初

数量計算書

令和 7 年 6 月

矢板市上下水道事務所

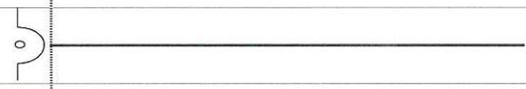
1.DIP ϕ 150mm布設工計算書

配管材料集計表

DIP(GX) φ150mm

名 称	形状・寸法	単位	数 量	単位長	延 長	備 考
GX 形 直 管	φ 150 × 5.00	本	Σ = 10 3	5.00	15.00	
GX 形 切 管	φ 150	本	7			
二 受 T 字 管	φ 150 × 100	個	1	0.14	0.48	
浅 層 埋 設 フ ラ ン シ 付 T 字 管	φ 150 × 75	個		0.48		
曲 管	φ 150 × 45°	個	5	0.53	2.35	
曲 管	φ 150 × 22 1/2°	個		0.47		
曲 管	φ 150 × 11 1/4°	個		0.41		
曲 管	φ 150 × 5 5/8°	個	2	0.37	0.74	
両 受 曲 管	φ 150 × 45°	個	1	0.20	0.20	
両 受 曲 管	φ 150 × 22 1/2°	個	1	0.14	0.14	
乙 字 管	φ 150 × H450	個		1.11		
GX 形 継 輪	φ 150	個	6	0.24	1.44	
GX 形 両 受 短 管	φ 150	個	3	0.02	0.06	
ラ イ ナ	φ 150 (GX形)	組	7	0.04	0.28	
G-Link	φ 150 (GX形)	組	26			
P-Link	φ 150 (GX形)	組				
GX 接 続 押 輪	φ 150 (GX形)	個	9			
ボルト 一 体 形 継 輪	φ 150	個				
受 挿 ソフト シール 仕 切 弁	φ 150	基	2	0.55	1.10	
両 受 ソフト シール 仕 切 弁	φ 150	基	1	0.22	0.22	
メカ 挿 し 口 付 割 T 字 管	DIP用 φ 150 × 150	基		0.81		
K 形 直 管	φ 150 × 5.00	本		5.00		
K 形 曲 管	φ 150 × 45°	個		0.65		
K 形 継 輪	φ 150	個				
特 殊 押 輪	3DkN φ 150 × (K形)	個				
管 栓 帽	φ 150	個	2			
埋 設 シ ー ト		m	52.0			
明 示 テ ー プ		m	Σ L / 5 × 4 × 0.169 × π × 1.5 33.1			
総 延 長 (Σ L)					51.95	
布 設 延 長 (L)				51.95	1.10	0.22
					50.63	

切管延長調書

DIP φ 150 mm		(l= 5.00 m/本)			
No.	甲 切 管	乙 切 管	延 長	残管延長	切断口数
					
1	3.06	1.19	4.25	0.75	2
2	1.24	1.24	0.93	3.41	1.59
3	2.53	1.57	4.10	0.90	2
4	3.05	1.01	4.06	0.94	2
5	4.85		4.85	0.15	1
6	4.54		4.54	0.46	1
7		3.74	0.99	4.73	0.27
	小計		29.94	5.06	13
					
	小計				
計	m 19.27	m 10.67	m 29.94	m 5.06	口 13

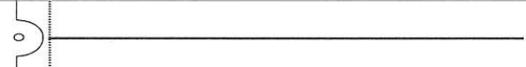
2.DIP ϕ 100mm布設工計算書

配管材料集計表

DIP(GX) φ100mm

名 称	形状・寸法	単位	数 量	単位長	延 長	備 考
GX 形 直 管	φ 100 × 5.00	本	Σ = 2	5.00		
GX 形 切 管	φ 100	本	2			
		m	5.65	1.00	5.65	
二 受 T 字 管	φ 150 × 100	個	(1)	0.14	0.14	
浅 層 埋 設 形				0.48		
フ ラ ン シ 付 T 字 管	φ 100 × 75	個	1	0.52	0.52	
曲 管	φ 100 × 45°	個	1	0.42	0.42	
曲 管	φ 100 × 22 1/2°	個		0.38		
曲 管	φ 100 × 11 1/4°	個	1	0.36	0.36	
両 受 曲 管	φ 100 × 45°	個	2	0.16	0.32	
両 受 曲 管	φ 100 × 22 1/2°	個		0.12		
乙 字 管	φ 100 × H450	個		1.04		
GX 形 継 輪	φ 100	個		0.20		
GX 形 両 受 短 管	φ 100	個		0.02		
ラ イ ナ	φ 100 (GX形)	組	1	0.03	0.03	
G-Link	φ 100 (GX形)	組	4			
P-Link	φ 100 (GX形)	組				
GX 接 続 押 輪	φ 100 (GX形)	個	5			
ボ ル ト 一 体 形 継 輪	φ 100	個				
受 挿 ソ フ ト シ ー ル 仕 切 弁	φ 100	基	1	0.49	0.49	
両 受 ソ フ ト シ ー ル 仕 切 弁	φ 100	基		0.22		
異 種 管 接 続 材	φ 100	個	1			
メ カ 挿 し 口 付 割 T 字 管	φ 100 × 100	基		0.81		
K 形 直 管	φ 100 × 5.00	本		5.00		
K 形 切 管	φ 100	本		1.00		
K 形 曲 管	φ 100 × 45°	個		0.65		
K 形 継 輪	φ 100	個				
特 殊 押 輪	φ 100 × (K形)	個				
管 栓 帽	φ 100	個				
埋 設 シ ー ト		m	7.9			
明 示 テ ー プ		m	Σ L / 4 × 3 × 0.118 × π × 1.5			
			3.3			
総 延 長 (Σ L)					7.93	
布 設 延 長 (L)				7.93	0.49	0.00
					7.44	

切管延長調書

DIP φ 100 mm		(l= 4.00 m/本)			
No.	甲 切 管	乙 切 管	延 長	残管延長	切断口数
					
1	1.79	1.58	3.37	0.63	2
2		0.97	1.31	2.28	1.72
	小計		5.65	2.35	4
					
	小計				
計	1.79 m	3.86 m	5.65 m	2.35 m	4 口

3. 配管PP ϕ 13mm布設工計算書

4. 仕切弁設置工計算書

配管材料集計表

DIP(GX)φ150mm

名 称	形状・寸法	単位	数 量	単位長	延 長	備 考
4. 仕切弁設置工						
GX形受挿ソフトシール仕切弁	φ 150	基	2	0.55	1.10	
GX形両受ソフトシール仕切弁	φ 150	基	1	0.22	0.22	
GX形受挿ソフトシール仕切弁	φ 100	基	1	0.49	0.49	
GX形両受ソフトシール仕切弁	φ 100	基		0.18		
GX形受挿ソフトシール仕切弁	φ 75	基		0.49		
GX形両受ソフトシール仕切弁	φ 75	基		0.18		
不 断 水 簡 易 弁	φ 100 (DIP用)	基				
仕 切 弁 筐 (浅 埋 用)	φ 150	基	1			
仕 切 弁 筐 (深 埋 用)	φ 150	基	2			
仕 切 弁 筐 (浅 埋 用)	φ 100	基	1			
仕 切 弁 筐 (浅 埋 用)	φ 75	基				
総 延 長(ΣL)					1.81	

5. 消火栓設置工計算書

6. 土工数量計算書

6. 土工集計表

名 称	形状寸法	φ 150 ・ φ 100					単位	数量計
舗装版切断	t=20cm以下 As	71.20					m	71.20
	t=20cm以下 Co						m	
舗装版直接掘削積込	t=15cm以下 As BH0.45m3	31.59					m ²	31.59
	t=15cm以下 Co BH0.45m3						m ²	
舗装版破碎工	t=17cm As版						m ²	
舗装版掘削積込	t=17cm As版						m ²	
舗装切断 濁水運搬費		0.16					m3	0.16
舗装切断 濁水処分費		0.16					m3	0.16
掘削積込	機械バックホウ0.28m3	58.30					m3	58.30
	人力掘削						m3	
埋 戻 工	山砂 機械BH0.28m3	19.12					m3	19.12
	発生土 機械BH0.28m3	10.55					m3	10.55
	RC-40 機械BH0.28m3	18.89					m3	18.89
凍上抑制層	t=15cm RC40	2.70					m ²	2.70
上層路盤工	t=15cm M-40	26.04					m ²	26.04
路 盤 工	t=10cm C-40						m ²	
	t=10cm RC40	2.70					m ²	2.70
	t=15cm RC40	26.04					m ²	26.04
	t=35cm RC40						m ²	
表 層 工	t=3cm 再密(13)-50 人力	5.55					m ²	5.55
	t=5cm 再密(20)-50 人力	26.04					m ²	26.04
	t=5cm 再密(20)-50 機械						m ²	
基 層 工	t=5cm 再粗(20)-50 人力	26.04					m ²	26.04
残 土	アスコン BH0.45m3	2.77					m3	2.77
	コンクリート BH0.45m3						m3	
	発生土 BH0.45m3	47.58					m3	47.58
廃材処理	アスコン塊	2.77					m3	2.77
	コンクリート塊						m3	
コンクリート打設							m3	
土留工		23.75					m	23.75

6. 土工集計表 (φ150・φ100)

名称	形状寸法	①施工済歩道部	②現道歩道部	③計画歩道部	④現道車道部	⑤現道車道部	⑥管栓帽設置	単位	数量計
		φ150 DP0.70 L=1.50m	φ150 DP1.50 L=2.00m	φ150 DP0.70 L=25.37m	φ150 DP1.50 L=22.75m	φ100 DP0.70 L=7.60m	φ150 DP1.50 1箇所		
舗装版切断	t=20cm以下 As	2.50	4.00		45.50	15.20	4.00	m	71.20
	t=20cm以下 Co							m	
舗装版直接掘削積込	t=15cm以下 As BH0.45m ³	3.75	1.80		20.48	4.56	1.00	m ²	31.59
	t=15cm以下 Co BH0.45m ³							m ²	
舗装版破碎工	t=17cm As版							m ²	
舗装版掘削積込	t=17cm As版							m ²	
舗装切断濁水運搬費		0.01	0.01		0.10	0.03	0.01	m ³	0.16
舗装切断濁水処分費		0.01	0.01		0.10	0.03	0.01	m ³	0.16
掘削積込	機械バックホウ0.28m ³	0.85	3.13	14.75	34.17	3.73	1.67	m ³	58.30
	人力掘削							m ³	
埋戻工	山砂 機械BH0.28m ³	0.39	0.80	6.57	9.09	1.82	0.45	m ³	19.12
	発生土 機械BH0.28m ³	0.20	1.84	7.61			0.90	m ³	10.55
	RC-40 機械BH0.28m ³				18.43	0.46		m ³	18.89
凍上抑制層	t=15cm RC40	0.90	1.80					m ²	2.70
上層路盤工	t=15cm M-40				20.48	4.56	1.00	m ²	26.04
路盤工	t=10cm C-40							m ²	
	t=10cm RC40	0.90	1.80					m ²	2.70
	t=15cm RC40				20.48	4.56	1.00	m ²	26.04
	t=35cm RC40							m ²	
表層工	t=3cm 再密(13)-50 人力	3.75	1.80					m ²	5.55
	t=5cm 再密(20)-50 人力				20.48	4.56	1.00	m ²	26.04
	t=5cm 再密(20)-50 機械							m ²	
基層工	t=5cm 再粗(20)-50 人力				20.48	4.56	1.00	m ²	26.04
残土	アスコン BH0.45m ³	0.11	0.05		2.05	0.46	0.10	m ³	2.77
	コンクリート BH0.45m ³							m ³	
	発生土 BH0.45m ³	0.63	1.09	6.29	34.17	3.73	1.67	m ³	47.58
廃材処理	アスコン塊	0.11	0.05		2.05	0.46	0.10	m ³	2.77
	コンクリート塊							m ³	
土留工					22.75		1.00	m	23.75

		数量
①施工済歩道部 φ150 <div style="text-align: center;"> </div>		延長 = 1.50 m 土被り = 0.70 m 口径 φ150 0.169 m 仮復旧幅 A= 0.600 影響幅 B= 影響幅 C= 本復旧幅 D= 現況厚 a= 0.030 仮復旧厚 a'= 0.030 本復旧厚 a= 路盤工 b1= 0.100 凍上抑制 b2= 0.150 発生土埋戻 d= 0.220 山砂埋戻 e= 0.469 掘削深 H= 0.969
計算式		
床掘り 掘削積込 機械	$A \times H - a \times \text{延長}$ $0.600 \times (0.969 - 0.030) \times 1.50$	0.85 m ³
舗装切断 t=20cm以下	$1 \times \text{延長}$ 1×2.50	2.50 m
舗装切断汚泥運搬費	$0.023 \times 0.03 \times \text{延長}$ $0.023 \times 0.03 \times 2.50$	0.01 m ³
舗装切断汚泥処分費		0.01 m ³
舗装版直接掘削積込 t=10cm以下	$A \times \text{延長}$ 2.500×1.50	3.75 m ²
埋戻 山砂	$A \times e - \left(\frac{\pi}{4} \times \text{管口径}^2 \times \text{延長} \right)$ $\{ 0.600 \times 0.469 - (\frac{\pi}{4} \times 0.169^2) \} \times 1.50$	0.39 m ³
埋戻 発生土	$A \times d \times \text{延長}$ $0.600 \times 0.220 \times 1.50$	0.20 m ³
路盤工 RC-40 t=10cm	$A \times \text{延長}$ 0.600×1.50	0.90 m ²
凍上抑制層 RC-40 t=15cm	$A \times \text{延長}$ 0.600×1.50	0.90 m ²
As処分	$A \times a \times \text{延長}$ $2.500 \times 0.030 \times 1.50$	0.11 m ³
残土発生土	$\text{掘削} - \text{埋戻}$ $0.85 - 0.20 \div 0.90$	0.63 m ³
仮復旧 表層(再生密粒) (13)-50 t=3cm	$A \times \text{延長}$ 2.500×1.50	3.75 m ²
本復旧 舗装切断 t=20cm以下	延長 \times	m
舗装掘削積込 t=10cm以下	$D \times \text{延長}$ \times	m ²
不陸整正	$D \times \text{延長}$ \times	m ²
表層 再密(20)-50 t=5cm	$D \times \text{延長}$ \times	m ²
掘削積込		m ³
残土アスコン	$D \times a \times \text{延長}$ $\times \times$	m ³
残土発生土		m ³

				数量		
②現道歩道部 φ150 <div style="text-align: center;"> </div>				延長 = 2.00 m 土被り = 1.50 m 口径 φ150 0.169 m 仮復旧幅 A= 0.900 影響幅 B= 影響幅 C= 本復旧幅 D= 現況厚 a= 0.030 仮復旧厚 a'= 0.030 本復旧厚 a= 路盤工 b1= 0.100 下層路盤工b2= 0.150 発生土埋戻d= 1.020 山砂埋戻 e= 0.469 掘削深 H= 1.769		
計算式						
床掘り 掘削積込	機械	A	H	a	延長	
		0.900	× (1.769 - 0.030)	×	2.00	3 3.13 m
舗装切断	t=20cm以下	延長		2	× 2.00	4.00 m
舗装切断汚泥運搬費		0.023	× 0.03	×	4.00	3 0.01 m
舗装切断汚泥処分費						3 0.01 m
舗装版直接掘削積込	t=10cm以下	A	延長	0.900 × 2.00		2 1.80 m
埋戻 山砂		A	e	管口径	2	延長
		{ 0.900 × 0.469 - (π/4 × 0.169) }	×	2.00		3 0.80 m
埋戻 発生土		A	d	延長	0.900 × 1.020 × 2.00	
路盤工 RC-40	t=10cm	A	延長	0.900 × 2.00		2 1.80 m
凍上抑制 RC-40	t=15cm	A	延長	0.900 × 2.00		2 1.80 m
As処分		A	a	延長	0.900 × 0.030 × 2.00	
残土発生土		掘削	埋戻	3.13 - 1.84 ÷ 0.90		3 1.09 m
仮復旧 表層(再生密粒)	(13)-50 t=3cm	A	延長	0.900 × 2.00		2 1.80 m
本復旧 舗装切断	t=20cm以下	延長		×		m
舗装掘削積込	t=10cm以下	D	延長	×		2 m
不陸整正		D	延長	×		2 m
表層 再密(20)-50	t=5cm	D	延長	×	2.00	2 m
掘削積込						3 m
残土アソク		D	a	延長	×	3 m
残土発生土						3 m

		数量	
③計画歩道部 φ150 <div style="text-align: center;"> </div>		延長 = 25.37 m 土被り = 0.70 m 口径 φ150 0.169 m 仮復旧幅 A= 0.600 影響幅 B= 影響幅 C= 本復旧幅 D= 現況厚 a= 仮復旧厚 a'= 本復旧厚 a= 上層路盤工b1= 下層路盤工b2= 発生土埋戻d= 0.500 山砂埋戻 e= 0.469 掘削深 H= 0.969	
計算式			
床掘り 掘削積込 機械	$A \times (H - a) \times \text{延長}$	$0.600 \times (0.969 -) \times 25.37$	3 14.75 m
舗装切断 t=20cm以下	$\times \text{延長}$		m
舗装切断汚泥運搬費	$\times \times$		3 m
舗装切断汚泥処分費			3 m
舗装版直接掘削積込 t=10cm以下	$A \times \text{延長}$		2 m
埋戻 山砂	$\{ A \times e - (\pi/4 \times \text{管口径}^2) \} \times \text{延長}$	$\{ 0.600 \times 0.469 - (\pi/4 \times 0.169^2) \} \times 25.37$	3 6.57 m
埋戻 発生土	$A \times d \times \text{延長}$	$0.600 \times 0.500 \times 25.37$	3 7.61 m
上層路盤工 M-40 t=20cm	$A \times \text{延長}$		2 m
下層路盤工 RC-40 t=15cm	$A \times \text{延長}$		2 m
As処分	$A \times a \times \text{延長}$		3 m
残土発生土	$\text{掘削} - \text{埋戻} \div 0.90$	$14.75 - 7.61 \div 0.90$	3 6.29 m
仮復旧 表層(再生密粒) (20)-50 t=5cm	$A \times \text{延長}$		2 m
本復旧 舗装切断 t=20cm以下	$\times \text{延長}$	$\times 25.37$	m
舗装掘削積込 t=10cm以下	$D \times \text{延長}$	$\times 25.37$	2 m
不陸整正	$D \times \text{延長}$	$\times 25.37$	2 m
表層 再密(20)-50 t=5cm	$D \times \text{延長}$	$\times 25.37$	2 m
掘削積込			3 m
残土アソコ	$D \times a \times \text{延長}$	$\times \times 25.37$	3 m
残土発生土			3 m

			数量		
④現道車道部 φ150				延長 =	22.75 m
				土被り =	1.50 m
				口径	φ150
				φ150	0.169 m
				仮復旧幅 A=	0.900
				影響幅 B=	
				影響幅 C=	
				本復旧幅 D=	
				現況厚 a=	0.100
				仮復旧厚 a'=	0.100
				本復旧厚 a=	
				上層路盤工 b1=	0.150
				下層路盤工 b2=	0.150
				碎石埋戻 d=	0.900
				山砂埋戻 e=	0.469
			掘削深 H=	1.769	
計算式					
床掘り 掘削積込	機械	A H a 延長	$0.900 \times (1.769 - 0.100) \times 22.75$	34.17 m ³	
舗装切断	t=20cm以下	延長	2×22.75	45.50 m	
舗装切断汚泥運搬費			$0.023 \times 0.10 \times 45.50$	0.10 m ³	
舗装切断汚泥処分費				0.10 m ³	
舗装版直接掘削積込	t=10cm以下	A 延長	0.900×22.75	20.48 m ²	
埋戻 山砂		A e 管口径 2 延長	$\{ 0.900 \times 0.469 - (\pi/4 \times 0.169^2) \} \times 22.75$	9.09 m ³	
埋戻 RC-40		A d2 延長	$0.900 \times 0.900 \times 22.75$	18.43 m ³	
上層路盤工	M-40 t=15cm	A 延長	0.900×22.75	20.48 m ²	
下層路盤工	RC-40 t=15cm	A	0.900×22.75	20.48 m ²	
As処分		A a 延長	$0.900 \times 0.100 \times 22.75$	2.05 m ³	
残土発生土		掘削 埋戻	34.17 -	34.17 m ³	
仮復旧 表層(再生密粒)	(20)-50 t=5cm	A 延長	0.900×22.75	20.48 m ²	
基層(再生粗粒)	(20)-50 t=5cm	A 延長	0.900×22.75	20.48 m ²	
土留工				22.75 m	
本復旧 舗装切断	t=20cm以下	延長	$\times 22.75$	m	
舗装掘削積込	t=10cm以下	D 延長	$\times 22.75$	m ²	
表層 再密(20)-50	t=5cm	D 延長	$\times 22.75$	m ²	
掘削積込				m ³	
残土アスコン		D a 延長	$\times \times 22.75$	m ³	
残土発生土				m ³	

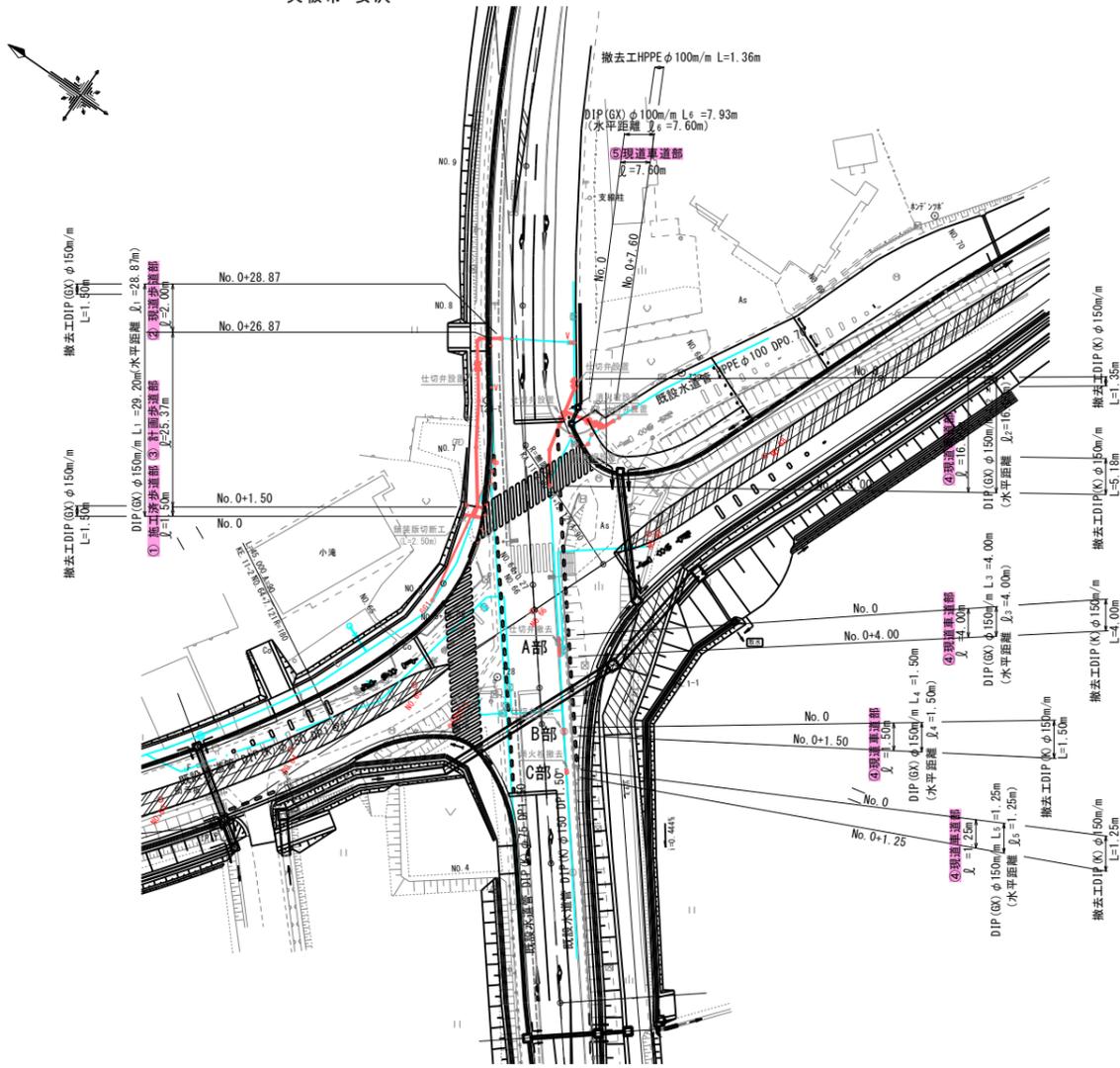
		数量
⑤現道車道部 φ100		延長 = 7.60 m 土被り = 0.70 m 口径 φ100 0.118 m 仮復旧幅 A= 0.600 影響幅 B= 影響幅 C= 本復旧幅 D= 現況厚 a= 0.100 仮復旧厚 a'= 0.100 本復旧厚 a= 上層路盤工b1= 0.150 下層路盤工b2= 0.150 碎石埋戻 d= 0.100 山砂埋戻 e= 0.418 掘削深 H= 0.918
計算式		

床掘り 掘削積込 機械	A	H	a	延長	
	0.600	0.918	0.100	7.60	3.73 m
舗装切断 t=20cm以下	2	延長		7.60	15.20 m
舗装切断汚泥運搬費	0.023	0.10		15.20	0.03 m
舗装切断汚泥処分費					0.03 m
舗装版直接掘削積込 t=10cm以下	A	延長		7.60	4.56 m
埋戻 山砂	A	e	管口径 2	延長	1.82 m
埋戻 RC-40	A	d	延長	7.60	0.46 m
上層路盤工 M-40 t=15cm	A	延長		7.60	4.56 m
下層路盤工 RC-40 t=15cm	A	延長		7.60	4.56 m
As処分	A	a	延長	7.60	0.46 m
残土発生土	掘削 3.73	埋戻			3.73 m
仮復旧 表層(再生密粒) (20)-50 t=5cm	A	延長		7.60	4.56 m
基層(再生粗粒) (20)-50 t=5cm	A	延長		7.60	4.56 m
本復旧 舗装切断 t=20cm以下		延長		7.60	m
舗装掘削積込 t=10cm以下	D	延長		7.60	m
不陸整正	D	延長		7.60	m
表層再密(20)-50 t=5cm	D	延長		7.60	m
掘削積込					m
残土アスコン	D	a	延長	7.60	m
残土発生土					m

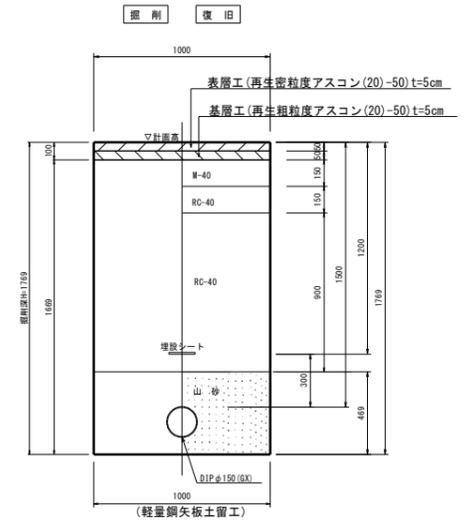
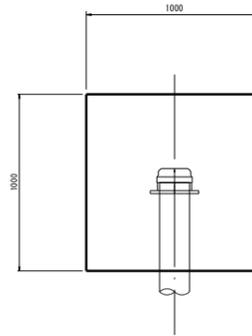
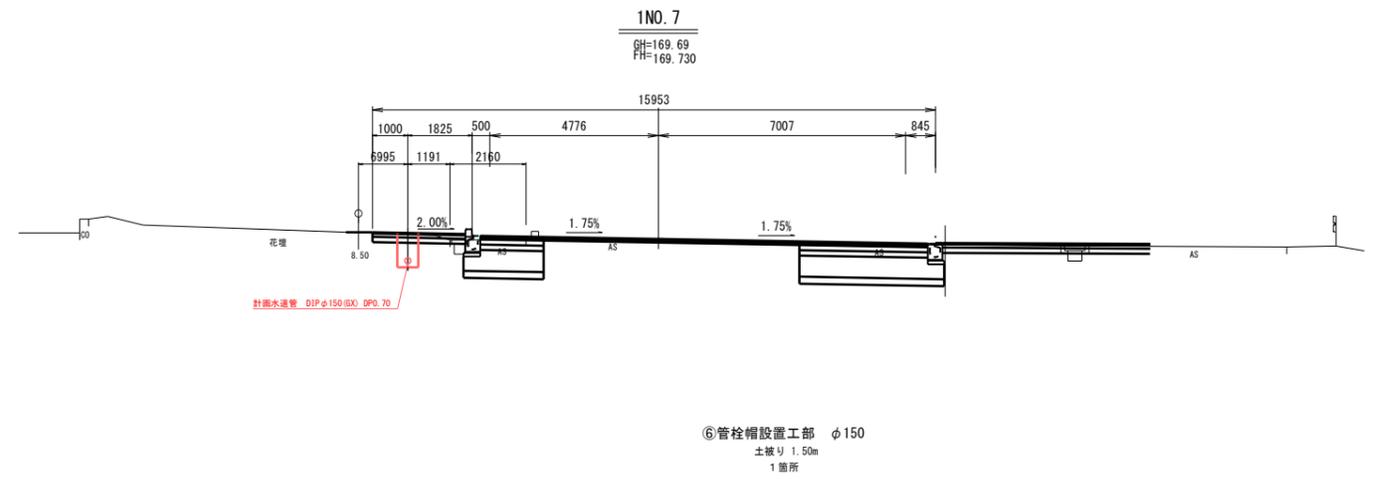
				数量	
⑥管柱帽設置 φ150 <div style="text-align: center;"> </div>				延長 = 1.00 m 土被り = 1.50 m 口径 φ150 = 0.169 m 仮復旧幅 A = 1.000 影響幅 B = 影響幅 C = 本復旧幅 D = 現況厚 a = 0.100 仮復旧厚 a' = 0.100 本復旧厚 a = 上層路盤工 b1 = 0.150 下層路盤工 b2 = 0.150 発生土埋戻 d = 0.900 山砂埋戻 e = 0.469 掘削深 H = 1.769	
計算式					
床掘り 掘削積込 機械	A	H	a	延長	
	1.000	× (1.769 - 0.100)	×	1.00	
					3
					1.67 m
舗装切断 t=20cm以下	×				4.00 m
舗装切断汚泥運搬費	0.023 × 0.10 × 4.00				3
					0.01 m
舗装切断汚泥処分費					3
					0.01 m
舗装版直接掘削積込 t=10cm以下	A	延長			
	1.000	×	1.00		
					2
					1.00 m
埋戻 山砂	A	e	管口径 ²	延長	
	{ 1.000 × 0.469 - (π/4 × 0.169) }	×	1.00	×	
					3
					0.45 m
埋戻 RC-40	A	d	延長		
	1.000	× 0.900 ×	1.00		
					3
					0.90 m
上層路盤工 M-40 t=15cm	A	延長			
	1.000	×	1.00		
					2
					1.00 m
下層路盤工 RC-40 t=15cm	A	延長			
	1.000	×	1.00		
					2
					1.00 m
As処分	A	a	延長		
	1.000	× 0.100 ×	1.00		
					3
					0.10 m
残土発生土 (20)-50	掘削	埋戻			
	1.67	-			
					3
					1.67 m
仮復旧 表層(再生密粒) (20)-50 t=5cm	A	延長			
	1.000	×	1.00		
					2
					1.00 m
基層(再生粗粒) (20)-50 t=5cm	A	延長			
	1.000	×	1.00		
					2
					1.00 m
土留工					1.00 m
本復旧 舗装切断 t=20cm以下	延長 × 1.00				m
舗装掘削積込 t=10cm以下	D	延長	× 1.00		
					2
					m
表層再密(20)-50 t=5cm	D	延長	× 1.00		
					2
					m
掘削積込					3
					m
残土アスコン	D	a	延長	× 1.00	
					3
					m
残土発生土					3
					m

平面図 S=1:500

矢板市 安沢

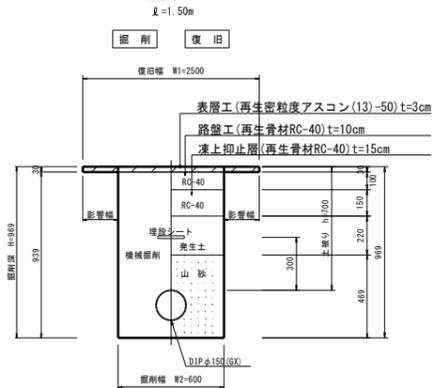


横断図 S=1:100

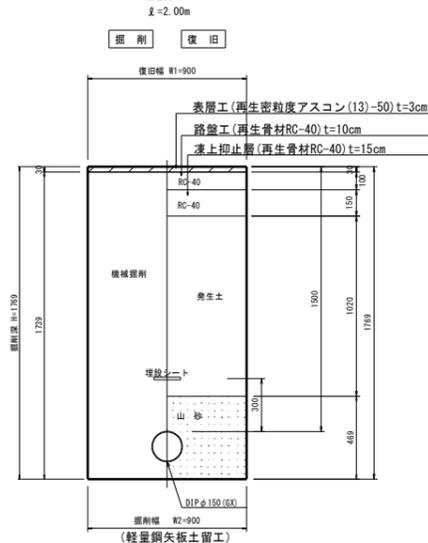


標準土工定規図 S=1:20

①施工歩道部 φ150
 土盛り 0.70m
 L=1.50m



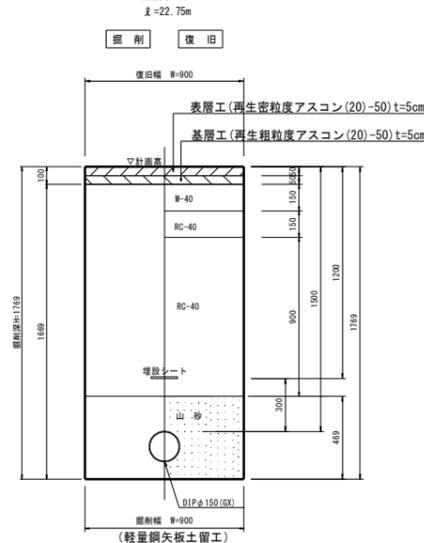
②現道歩道部 φ150
 土盛り 1.50m
 L=2.00m



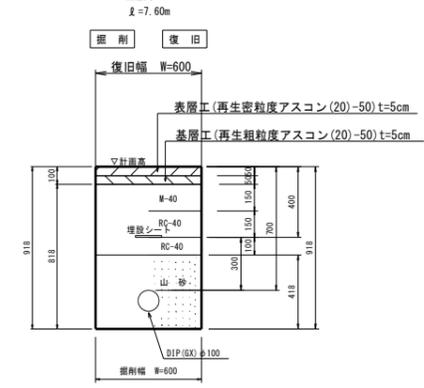
③計画歩道部 φ150
 土盛り 0.70m
 L=25.37m



④現道車道部 φ150
 土盛り 1.50m
 L=22.75m



⑤現道車道部 φ100
 土盛り 1.50m
 L=7.60m



R7 実施

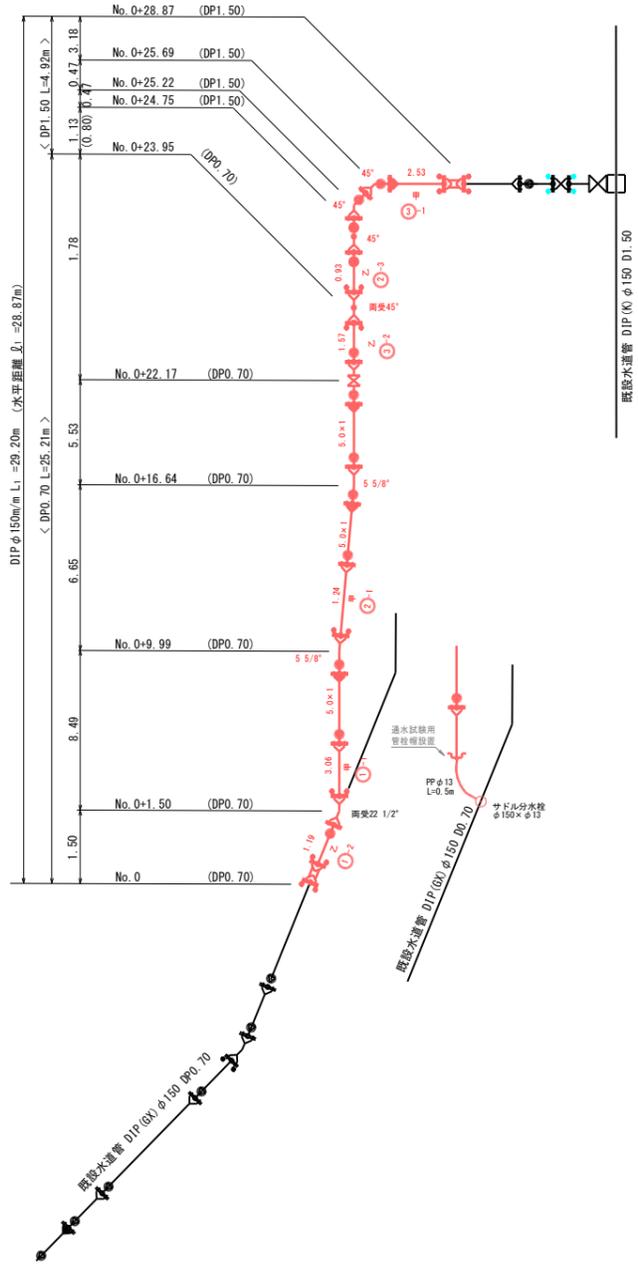
※工事場所位置図 S=1:10,000



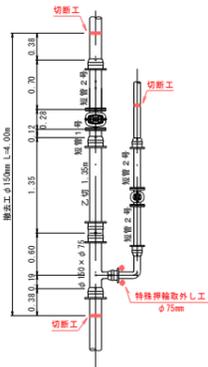
発注者	矢板市役所		
工事名	配水管布設工事 第3号		
図面	平面図・横断図		
工事箇所	矢板市 安沢 地内		
縮尺	図示	設計年月日	図番 1 / 3
検印	照査	設計	製図

配管詳細図

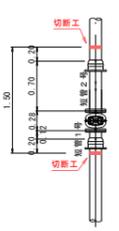
S=Free



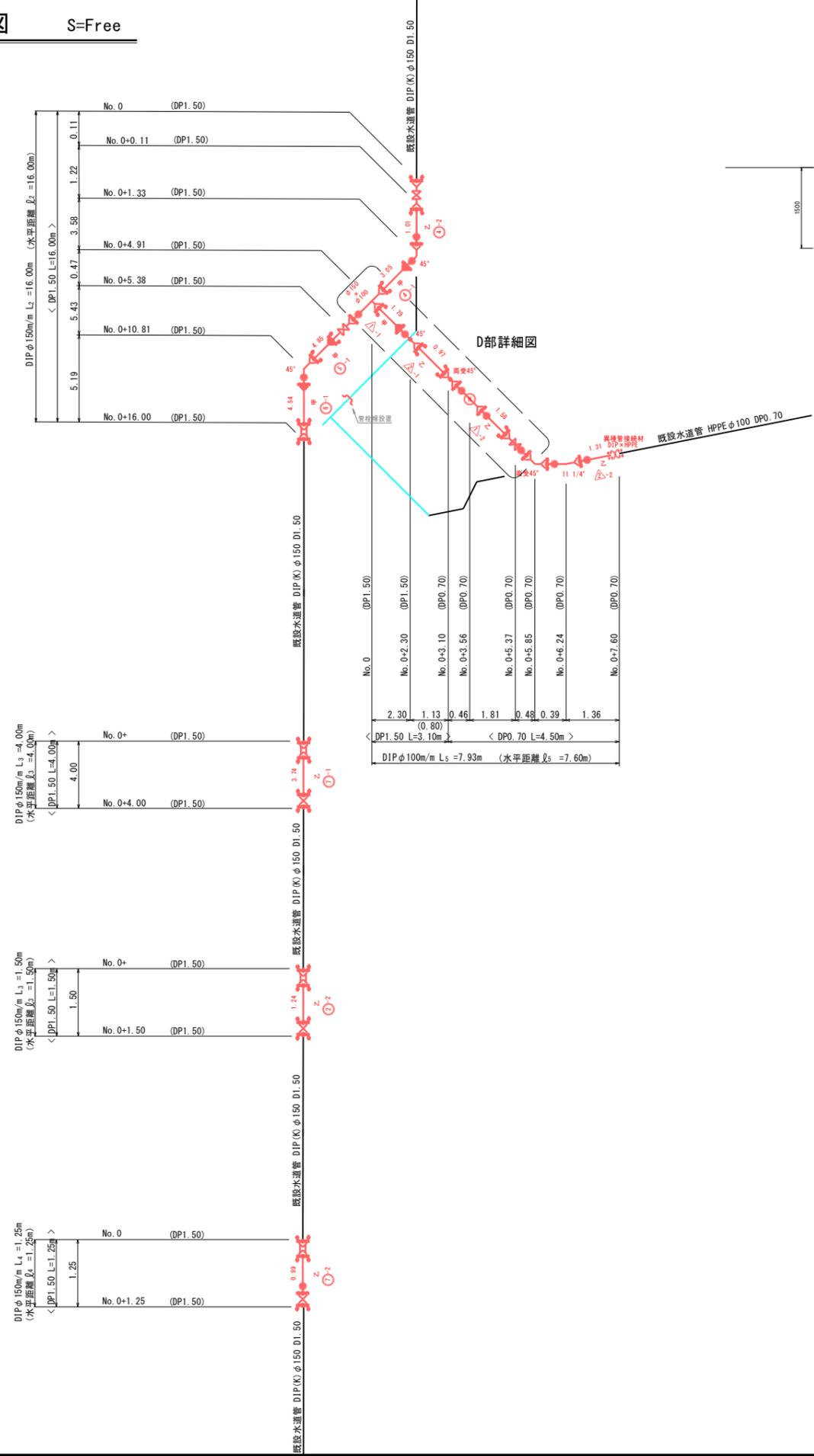
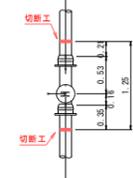
A部撤去工詳細図
(仕切弁撤去工)



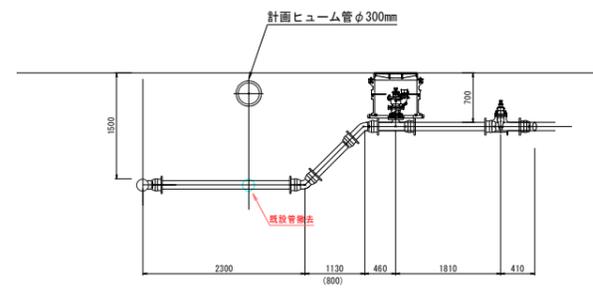
B部撤去工詳細図
(仕切弁撤去工)



C部撤去工詳細図
(消火栓撤去)



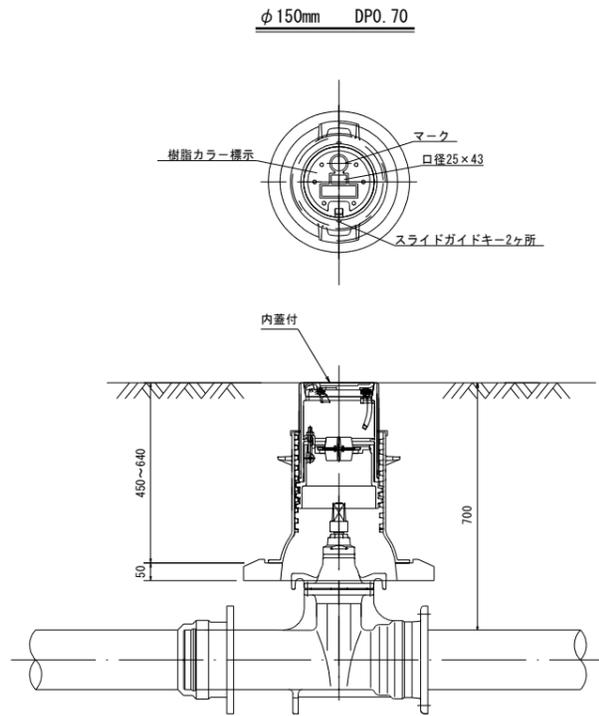
D部詳細図



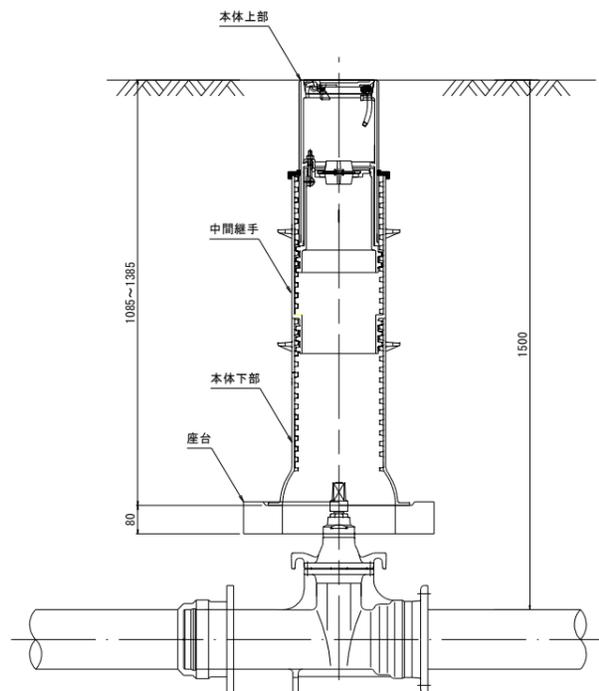
R7 実施

発注者	矢板市役所		
工事名	配水管布設工事 第3号		
図面	配管詳細図		
工事箇所	矢板市安沢地内		
縮尺	図示	設計年月日	図番
検印	照査	設計	製図
		2 / 3	

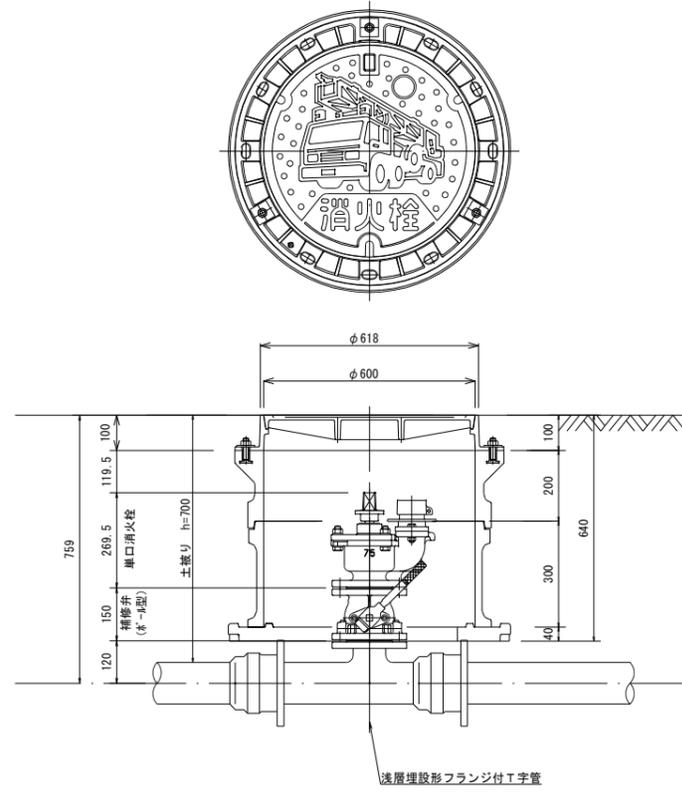
仕切弁詳細図 S=1:10



φ150mm DP1.50



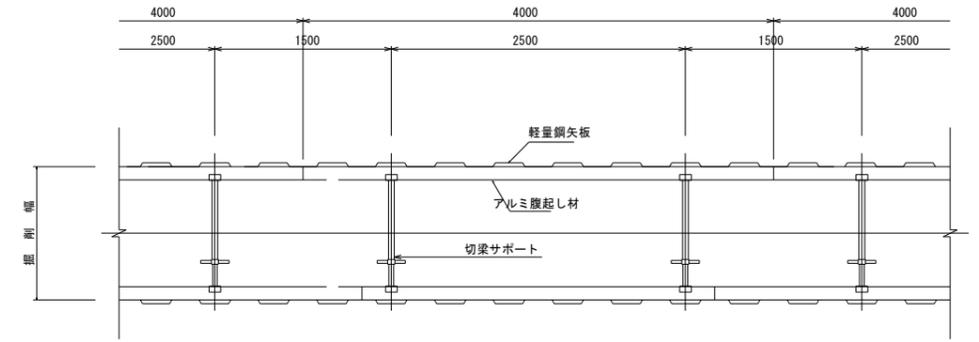
消火栓詳細図 S=1:10



土留工標準図 S=1:30

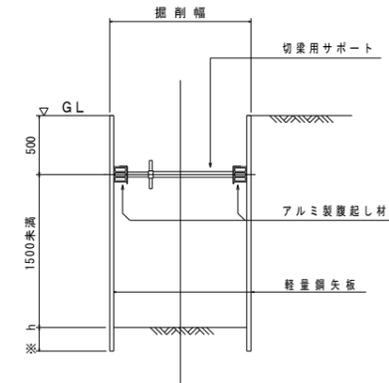
(軽量矢板土留)

平面図



断面図

掘削深 2.00m 未満



※ 掘削深は最大4.0m未満とし、掘削深4.0m未満は切梁3段とする。
 ※ 矢板の根入れ深さは土質に応じて考慮する。
 ※ 道路土工仮設構造物工指針、下水道用設計積算要領—管路施設（開削工法）編—及び軽量鋼矢板設計施工マニュアル等に準じる。

R7 実施

発注者	矢板市役所		
工事名	配水管布設工事 第3号		
図面	消火栓詳細図・仕切弁詳細図		
工事箇所	矢板市 安沢 地内		
縮尺	図示	設計年月日	図番 3 / 3
検印	照査	設計	製図